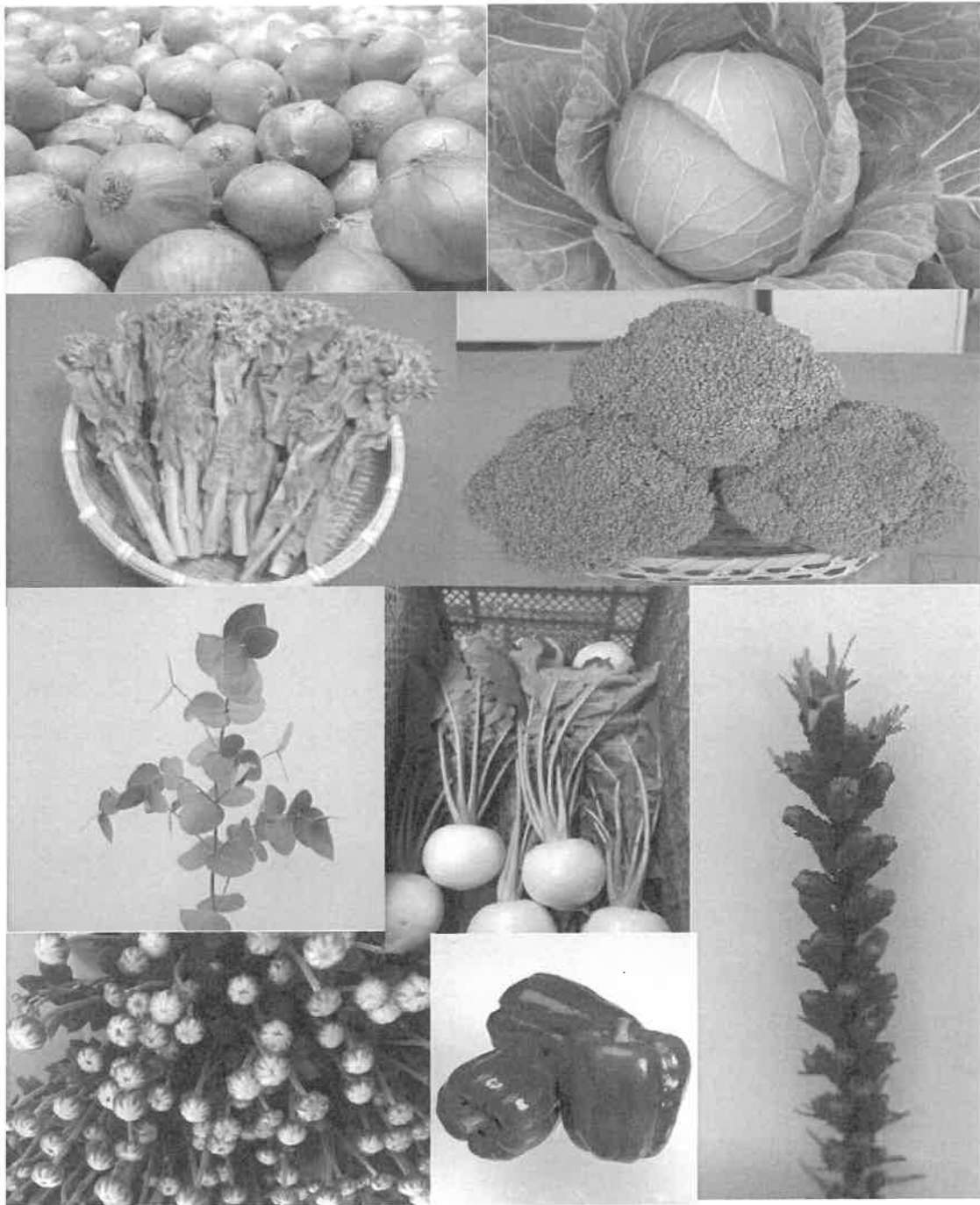


令和5年度 E~やさいづくり  
重点園芸品目栽培設計書



【監修】滋賀県湖東農業農村振興事務所 農産普及課

## もくじ

- ・令和5年度 重点園芸品目栽培設計書の作成にあたって . . . . . 1
- ・加工生食サラダ用秋冬キャベツ（アブラナ科） . . . . . 2～6
- ・秋冬ブロッコリー（アブラナ科） . . . . . 7～12
- ・水稲育苗ハウス跡白カブ（アブラナ科） . . . . . 13～16
- ・ナバナ（アブラナ科） . . . . . 17～20
- ・加工用タマネギ（ヒガンバナ科） . . . . . 21～24
- ・中山間地域向けピーマン（ナス科） . . . . . 25～27
- ・リアトリス . . . . . 28～30
- ・短莖小ギク（45cm規格） . . . . . 31～34
- ・ユーカリ . . . . . 35～40
- ・農業希釈等早見表 . . . . . 41
- ・RACコードについて . . . . . 42
- ・農業用使用済みプラスチック類不要農業の適正処理について . . . . . 43
- ・令和5年播き秋冬野菜  
「キャベツ・ブロッコリー・タマネギ」苗申込書 . . . . . 44～47
- ・JA東びわこ有償貸出機械利用申込書 . . . . . 48～53
- ・口座振替依頼書（苗代・JA貸出園芸用農機具利用料） . . . . . 54
- ・JA東びわこ市場出荷等農産物生産履歴書 . . . . . 55
- ・業務，加工用契約キャベツ取引覚書 . . . . . 56
- ・業務，加工用契約タマネギ取引覚書 . . . . . 57
- ・種子，肥料，農業申込書 . . . . . 58～61

# 令和5年度 重点園芸品目栽培設計書の作成にあたって

今年度は、自己改革の目標である『農業者の所得増大』と『農業生産の拡大』また『地域活性化』に引き続き取り組むと共に、第7次地域農業振興計画に則り、地域農業の持続と発展に向けた取り組み強化、持続的・生産性の高い農業の実践を目指します。

## ①将来の地域農業の維持・発展と生産振興

- ・ 従来の特産品については、新規栽培者による面積の確保を目指します。
- ・ 果樹については、トレーニングセンターを核として、各営農経済センター単位で果樹栽培圃場の形成や拡大に向けた取り組みを行います。
- ・ 今年度、新たな品目および作型の試験栽培を行い、収益性の高い品目の選定を行います。

## ②トータルコスト低減による農家所得の向上

- ・ 生産から販売までのトータルコストの低減を実現するため、JAグループのスケールメリットを生かし、商品集中・物流コスト・施設費のコスト削減に取り組めます。
- ・ 近年加速化しているスマート農業に取り組む、ドローンを活用した試験圃場の設置により、病害虫管理や生育診断を行います。

# 加工用 秋冬キャベツ(アブラナ科)



## 1. 栽培型 (8月下旬～9月上旬 定植 11～2月収穫)

目標収量:加工向け 5, 500kg以上/10a

1. 5～2. 8kg / 玉 (大玉で収量アップ)

加工向けキャベツは作付け前にJAへ取引覚書を提出してください

### 栽培暦

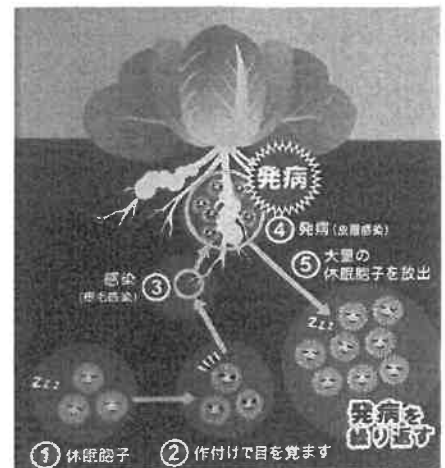
7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
藍宝ひかり	は種	定植				防除	防除	防除	防除	防除	防除	収穫出荷											
冬武将	は種	定植	定植									防除	防除				収穫出荷						
土壌改良資材 排水対策	施肥 畝立て		灌水	除草剤	追肥① 定植14日後				追肥② 結球始め時							追肥③ 年明収穫型							
						キャベツ用セラコートRを利用すれば 追肥②を省略できる																	
藍宝ひかり (8月下旬植え)												冬武将 (9月初旬植え)											

## 2. 作付品種

- 品種名と特性**
- ・藍宝ひかり・・・ 8月中下旬定植で、年内収穫用の栽培し易い品種です。
  - ・冬武将・・・・ 9月初旬定植で、2月末まで収穫用の大玉収穫が可能な品種です。

## 3. 栽培のポイント💡

- 1) 排水不良田では栽培できません。明渠(排水溝)を必ず施工しましょう。
- 2) 大豆が周辺に栽培されている場合は特にハスモンヨトウに注意しましょう。
- 3) 野菜跡地で栽培する際には土壌分析を行い、適正施肥量にしましょう。
- 4) 市場では売りにくい 1. 5～2. 8 kg サイズの大玉で収量アップ。
- 5) 生育期間を通じて予防防除に努め、定期的に薬剤散布を行いましょう。異なるグループの薬剤をローテーション使用しましょう。
- 6) 根こぶ病の防止のため、酸性土壌の改良・排水対策等を行いましょう。また、過去に根こぶ病が発生した場合は、アブラナ科野菜の作付を5年以上避けて、さらに予防剤(ネビリュウ等)を施用しましょう。



根こぶ病の休眠胞子は10年以上も生き続け水稲を作付けても死滅しません。

## 4. 作業・技術内容

待肥：移植後すぐに肥料分を吸収できるようにしておく肥料

### ほ場の準備(施肥)

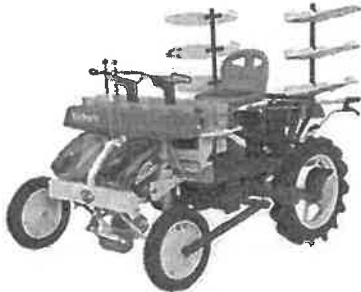
(kg/10a)

肥料名	N	P	K	総量	基肥	待肥	追肥①	追肥②	追肥③	N	P	K
完熟堆肥	-	-	-	2000	2000							
または 新ふりかけ堆肥エコ	1.9	2.1	1.0	200	200					3.8	4.2	2.0
粒状炭酸苦土石灰	0	0	0	100	100	根こぶ病が心配される場合は 200kg				0.0	0.0	0.0
BMようりん	0	20	0	20	20					0.0	4.0	0.0
やさい1号	12	10	12	120	120					14.4	12.0	14.4
磷硝安加里S604	16	10	14	20		20				3.2	2.0	2.8
化成肥料20-0-10	20	0	10	65			25	40		13.0	0.0	6.5
または キャベツ用セラコートR	18	12	12	80			80	省略		14.4	9.6	9.6
尿素	46	0	0	10		年明け収穫型のみ →			10	4.6	0.0	0.0
										34.4~40.4	22.2~31.8	25.7~28.8

※ キャベツ用セラコートRは、15kg/袋です。追肥②を省略できます。

キャベツ用セラコートRを施肥した場合でも、年明け収穫型には追肥③が必要です。

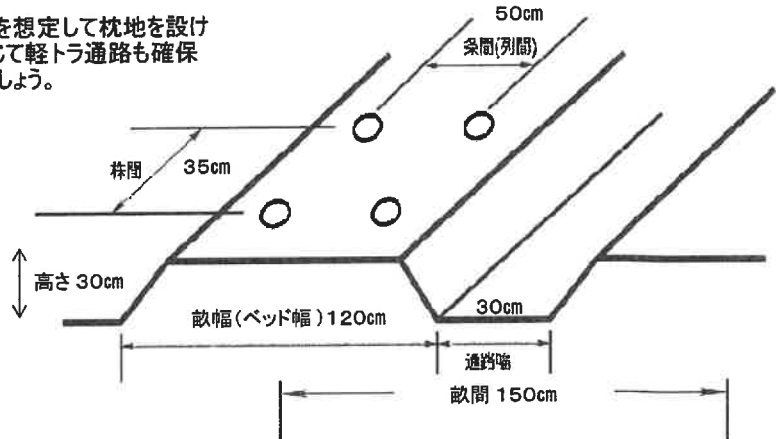
- ◎ 麦跡ほ場の利用が望ましいです。額縁明渠・弾丸暗渠を施工し、ほ場を十分乾かしましょう。
- ◎ 定植1か月前に、完熟堆肥または新ふりかけ堆肥エコ、粒状炭酸苦土石灰・BMようりんを散布し、耕耘します。
- ◎ 定植1週間前～前日までに、やさい1号を散布し畝立をしましょう(JA畝立て成型機の貸出しあります)。
- ◎ 畝幅(ベッド幅)120cm・高さ30cm・畝間150cmに畝を立てます(JA定植機利用の場合は必須です)。
- ◎ 畝立後、畝表面(苗が植わる部分あたり)に磷硝安加里S604を撒いておきましょう(待肥)。
- ◎ 排水溝を設置し、尻水戸まで溝をつなげましょう。
- ◎ 定植まで日数がある場合は雑草が生えないよう、畝立て後に除草剤を散布しておきましょう。



【貸出定植機】

乗用半自動野菜移植機 クボタベジライダー

※ 収穫作業を想定して枕地を設け  
必要に応じて軽トラ通路も確保  
しておきましょう。



### は種・育苗

10a当りのセル成型育苗(予備苗含む)に必要な資材(例)

コート種子	セルトレイ 128穴	水稻育苗箱	育苗培土(床土) 与作N-150	育苗培土(覆土) パーミキュライト 30L
約 4,000粒	30枚	30枚	2.5袋	0.4袋

- ◎ 水稻育苗箱にセルトレイを入れ、与作N-150をトレイ穴に均一に詰めます。
- ◎ 培土を詰めた後、鎮圧板等でセル穴中央に凹みをつけます。
- ◎ 各穴にコート種子を1粒ずつ、中央に播き(手播き、または播種器利用)、パーミキュライトで覆土します。
- ◎ トレイの底から水が出るまでたっぷり灌水をします。発芽するまで屋内の涼しい場所に置きます。
- ◎ 発芽までセルトレイを重ねる場合は10枚までとし、乾かないようにビニール等を被せます。
- ◎ 1日半程度で発芽するので日中を避けて育苗ハウスに並べます。遅れると徒長してしまいます。  
(例:午前中に播種し、翌日の夕刻に並べる または 夕刻に播種し、翌々日の早朝に並べる)
- ◎ 育苗ハウスは遮光率40%程度の白色寒冷紗等で遮光します。
- ◎ 灌水は生育や天候により調節し、夕方～夜間に水分が多いと徒長するので午後3時以降は灌水しません。
- ◎ 遮光用寒冷紗等を撤去する場合は、曇天日か夕方に行います。
- ◎ 発芽2週間頃から肥切れする(双葉が黄色になる)ことがありますので、その場合は液肥500倍液を灌水します。

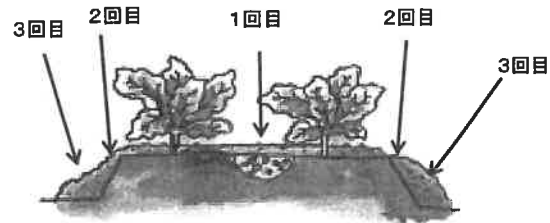
## 定 植

- ◎ 10a当たり、128穴トレイで30枚を目安に準備します。
- ◎ は種後25日～30日、本葉2.5葉～3.0葉期を目安に定植します。
- ◎ 株間35cm、条間50cm(2条植え)を基準に定植します。
- ◎ 育苗期後半～定植当日に、殺虫剤(プレバソンプロアブル5等、展着剤不要)をジョウロ等で灌注します。
- ◎ 定植後すぐに灌水します。
- ◎ 定植後、雑草発生前にアグロマックス水和剤等の除草剤を散布します。

## 追 肥

- 【1回目】 本葉8枚程度の頃(定植14日後)に、条間へ化成肥料20-0-10を25kg/10a施します。
- 【省力型】 1回目追肥にキャベツ用セラコートRを用いることで、2回目追肥を省略できます。
- 【2回目】 結球始めの時(結球部が握りこぶし程度)に、畝肩へ化成肥料20-0-10を40kg/10a施します。
- 【3回目】 年明け収穫の場合は11月中旬に尿素(46-0-0)を10kg/10a施します。

- ※ 2回目追肥の後に畝間を中耕、培土すると肥効が高まり、雑草抑制できます。
- ※ 台風等の大雨で肥料が流亡した場合は、これ以外にも追肥が必要な場合があります。



## 灌 水

- ◎ 降雨が少ない場合は灌水を行い、養分吸収の時期が遅れないようにします。
- ◎ 灌水は、スプリンクラーや灌水チューブ等の散水設備で行うと効果的です。
- ◎ 畝間灌水すると雑草が著しく発生しますが、やむを得ず行う場合は速やかに排水させましょう。

## 収 穫

- ◎ 事前にほ場を回り、玉を押さえ、しっかりと硬く結球してあるか確認してください。
- ◎ ほ場ごとに数個試し切りし、害虫の侵入や排泄物がないか確認してください。
- ◎ 刈り取り後、下記により出荷調整してください。



## 等級(品質)区分

【加工用出荷向け規格】 ※ 事前に目合わせ会を実施しますので参加してください

1玉重量 目安	調 製	出荷形態	出荷重量
1.5kg～2.8kg	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 軸(茎)の除去</li> <li>◆ 軸に亀裂がある玉の除去</li> <li>◆ そり葉を残して外葉を除去</li> <li>◆ アントシアン(紫色)が発生している葉は除去してください。</li> </ul>	鉄コンテナ プラスチックコンテナ 段ボール箱  ※出荷先により異なります	鉄コンテナでは満杯詰め(または指定重量)にし、集荷場等で計量します。段ボール箱、プラスチックコンテナの場合は基準を示します。

- ※ 出荷先(加工業者)の要望によっては、記載以外の規格区分を追加する場合があります。
- ※ 出荷形態を変更する場合は、別途該当生産者へ連絡いたします。

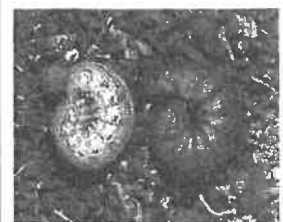
## 5. 病虫害雑草防除暦(例)

キャベツの葉は水をはじきやすいので展着剤(グラミンS等)を添加します。  
※プレバソンプロアブル5の灌注、除草剤は除きます。

作業名 または時期	暦日例	用途	農薬名	対象病虫害	希釈倍数 使用量	使用回数
				対象雑草		使用時期
は種	7月31日頃	—	—	—	—	—
育苗期	8月14日頃	殺虫	パダンSG水溶剤	アトム アラムン類 コガ ハイタラノイカ ナメジ類	1500倍	4回以内  収穫14日前まで
畝立後定植前	定植まで期間がある場合	除草	クレマト乳剤	一年生雑草	200～400ml /10a 散布液量 100～150L 全面土壌散布	1回  定植前 (雑草発生前)



カブラヤガ：成虫 ↑  
同：幼虫(ネキリムシ) ↓



作業名 または時期	暦日例	用途	農薬名	対象病虫害 (対象雑草)	希釈倍数 使用量	使用回数
						使用時期
定植前	8月24日頃	殺虫	プレバソン フロアブル5	コナガ アトムシ ヨウムシ ハスモンヨトウ ハイマダノメイガ ネキリムシ類 カブラハバチ	100倍 鉢成型育苗 トイ1箱当り  0.5ℓ 灌注	1回 (定植時まで)  育苗期後半～ 定植当日
定植	8月27日頃					
定植直後	8月27日頃	除草	アグロマックス 水和剤	一年生雑草 (キク科・カヅツク サ科を除く)	200～300g /10a 散布液量 100ℓ/10a 全面土壌散布	1回  定植直後 雑草発生前
定植25日後	9月19日頃	殺虫	プレオフロアブル	アトムシ ウワバノ類 オオタバコガ コナガ シロイモシヨトウ ネキアザミウマ ハイマダノメイガ ハスモンヨトウ ヨウムシ	1000倍  散布液量 100～300ℓ /10a	2回以内  収穫7日前 まで
定植35日後	9月29日頃	殺菌	スターナ水和剤	軟腐病 黒斑細菌病	1000倍 散布液量 100～300ℓ /10a	3回以内  収穫7日前 まで
		殺虫	ゼンターリ 顆粒水和剤	アトムシ コナガ ヨウムシ  オオタバコガ シロイモシヨトウ ハスモンヨトウ	1000～ 2000倍 散布液量 100～300ℓ /10a  1000倍 散布液量 100～300ℓ /10a	—  発生初期 但し、 収穫前日まで
結球始期	10月9日頃	殺虫	プロフレアSC	アトムシ ウワバノ類 オオタバコガ ハイマダノメイガ ハスモンヨトウ コナガ ヨウムシ シロイモシヨトウ	2000～ 4000倍  散布液量 100～300ℓ /10a	3回以内  収穫前日まで
定植55日後	10月19日頃	殺虫	モスピラン 顆粒水溶剤	アトムシ ネズミ ミハムシ コナガ	1000～ 2000倍 散布液量 100～300ℓ /10a	5回以内
				アザミウマ類 アブラムシ類	2000～ 4000倍 散布液量 100～300ℓ /10a	収穫7日前 まで
定植65日後	10月29日頃	殺菌	アフエット フロアブル	菌核病 株腐病 根朽病 灰色かび病	2000倍 散布液量 100～300ℓ /10a	3回以内  収穫前日 まで
		殺虫	プレバソン フロアブル5	アトムシ ウワバノ類 オオタバコガ コナガ ハイマダノメイガ ハスモンヨトウ ヨウムシ	2000倍  散布液量 100～300ℓ /10a	3回以内  収穫前日まで
定植80日後 (冬武将)	11月13日頃	殺虫	アフーム乳剤	コナガ アトムシ ヨウムシ タマキノウバ ハスモンヨトウ ハイマダノメイガ	1000～ 2000倍 散布液量 100～300ℓ /10a	3回以内  収穫前日 まで
定植95日後 (冬武将)	11月28日頃	殺虫	スタークル 顆粒水溶剤	アブラムシ類	2000～ 3000倍 散布液量 100～300ℓ /10a	2回以内  収穫3日前 まで
収穫開始	11月上旬～	—	—	—	—	—

### プレバソンフロアブル5

- 灌注には展着剤を加用しない
- 定植3～5日前灌注が効果的
- 適度な水分を含んだ培地で処理

### アグロマックス水和剤

- 展着剤を加用しない
- 定植後散布は霧状にならないように低圧で
- 保水性の高い水田転換畑では200g/10aで使用



タマナギンウワバ(幼虫)  
老齢幼虫は3～4cm



ハイマダラノメイガ(幼虫)  
芯(生長点)に食い入る



ハスモンヨトウ(若齢幼虫)  
若齢幼虫が広がらないうちに、葉ごと摘み取って持ち出す



黒腐病  
台風等で葉に傷がつくと畑全面に激しく広がる

【参考】その他登録農薬の例（希釈倍数、使用量、散布液量、使用回数、使用方法等はラベルをお読みください）

状況等	◆農薬名	使用時期
	対象害虫	
害虫多発時	◆ハチハチ乳剤	収穫14日前まで
	アオムシ アザミウマ類 アブラムシ類 コナガ ハイマダラノメイガ	
	◆コテツフロアブル	収穫前日まで
	アオムシ オオタバコガ コナガ シロイチモジヨトウ タマナキンウハ <sup>1</sup> ハイマダラノメイガ <sup>2</sup> ハスモンヨトウ ヨウムシ	
	◆ディアナSC	収穫前日まで
	アオムシ アザミウマ類 ウワバ <sup>1</sup> 類 オオタバコガ コナガ ハイマダラノメイガ <sup>2</sup> ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 ヨウムシ	
ネキリムシの被害が予想される場合	◆ダイアジノン粒剤5	定植時
ネキリムシ類 タネバエ ケラ		

状況等	◆農薬名	使用時期
	対象病害	
病害発生時	◆ダコニール1000	収穫14日前まで
	根朽病 ベト病	
	◆アミスター-20フロアブル	収穫7日前まで
	株腐病 菌核病 黒斑病	
	◆バリダシン液剤5	収穫7日前まで
	株腐病 黒腐病 軟腐病	
◆カスミンボルドー	収穫7日前まで	
黒腐病 黒斑細菌病 軟腐病		
◆Zボルドー	—	
黒腐病 黒斑細菌病 軟腐病 ベト病 斑点細菌病		

根こぶ病対策	◆農薬名	使用時期
	◆ネピリユウ	播種または定植前

畝間除草 (雑草生育期)	◆農薬名	使用時期
	◆バスタ液剤	収穫45日前まで

上記農薬リストは、令和5年3月1日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。  
同じ剤でも農薬メーカーにより登録内容に違いがある場合があるため、農薬を使用する前には必ずラベルを確認し、記載内容を守って使用してください。

## 6. 収支試算例(10a当り)

出荷量	5,500 kg
販売単価	49 円/kg
販売金額	269,500 円

成苗代	48,000 円
生産資材費	94,300 円
機械利用料	6,600 円
出荷経費	全農鉄コン 0 円
経費合計	148,900 円

所得	120,600 円
----	-----------

※ 販売金額は、全農の契約販売単価により試算しております。(R4年度)

経費は、現在 (R5.5月) の料金体系・価格を基に試算しております。

全農以外の出荷は単価、出荷経費が異なります。

経費合計には、自前機械の償却費、燃料費、人件費は含んでいません。

## 7. 【参考例】作業別労働時間(10a当り)

滋賀県農業経営ハンドブック(平成30年(2018年)3月)より

作業名/作型	加工向け露地栽培	市場向け露地栽培
は種・は種準備	1	1
育苗	6	6
耕起・定植準備	3	3
定植	3	3
除草剤散布	1	1

作業名/作型	加工向け露地栽培	市場向け露地栽培
灌水	2	2
中耕・追肥	1	3
病虫害防除	3	3
収穫・出荷	28	62
後始末	1	1
合計	49	85

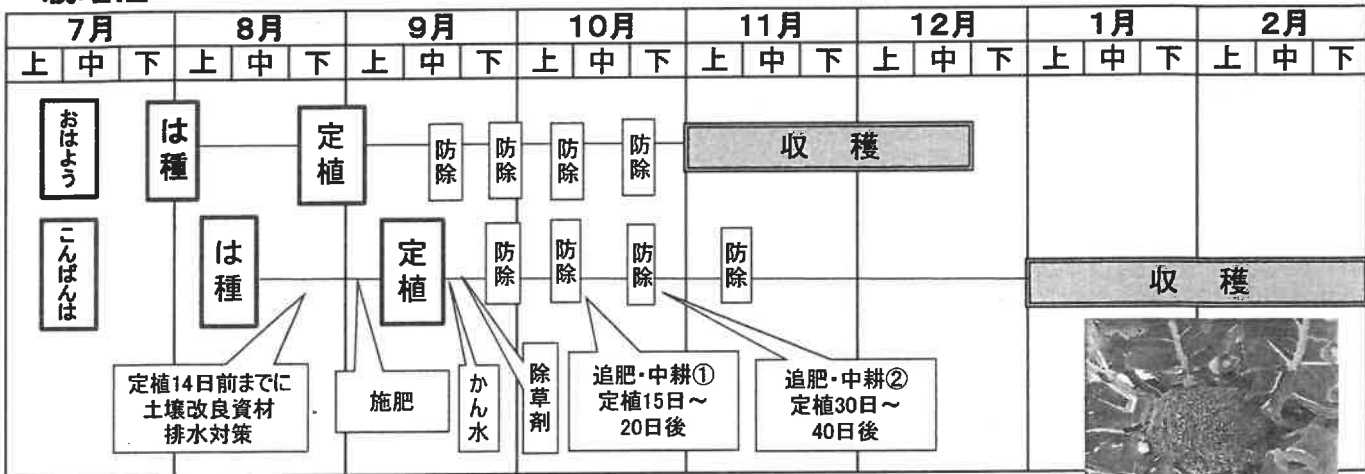


# 秋冬ブロッコリー(アブラナ科)

## 1. 栽培型 夏播き 秋冬収穫

目標収量数: 3,000花蕾/10a (植え付け 3,500株/10a)

### 栽培暦



## 2. 品種および特性

### おはよう

- ・播種後95日前後で収穫できる早生品種
- ・草姿は立性で草勢はやや強い 花蕾位置はやや低い
- ・低温時のアントシアン発生がなく、茎の空洞症は少ない

- ・花蕾は小粒、濃緑色で極ドーム形、花蕾形状の安定性が高い
- ・栽培適応性が広く、播種期及び収穫期幅が広い

### こんばんは

- ・播種後150日前後で収穫できる晩生品種
- ・花蕾にアントシアンが発生しない

- ・草姿は立性で草勢はやや強く、花蕾は小粒、濃緑色で極ドーム形
- ・低温伸張性があり、一般地暖地の1～2月どりに適する。

## 3. 栽培のポイント

- 1) 排水不良田では栽培できません。明渠(排水溝)は必ず施工しましょう。
- 2) 大豆が周辺に栽培されている場合は、特にハスモンヨトウに注意しましょう。
- 3) 収穫適期幅が短いので2～3回に分けて定植し、適期収穫に努めましょう。
- 4) 株間35cmで適正サイズ(L～2L 市場価格高い)の花蕾を収穫しましょう。
- 5) 生育期間を通じて予防防除に努め、定期的に薬剤散布を行いましょ。
- 6) 根こぶ病の防止のため、酸性土壌の改良・排水対策等を行いましょ。  
また、過去に根こぶ病が発生した場合は、アブラナ科野菜の作付を5年以上避けて、さらに予防剤(ネビリュウ等)を施用しましょ。



根こぶ病 (基発生)

## 4. 作業・技術内容

### ほ場の準備(施肥)

待肥: 移植後すぐに肥料分を吸収できるようにしておく肥料

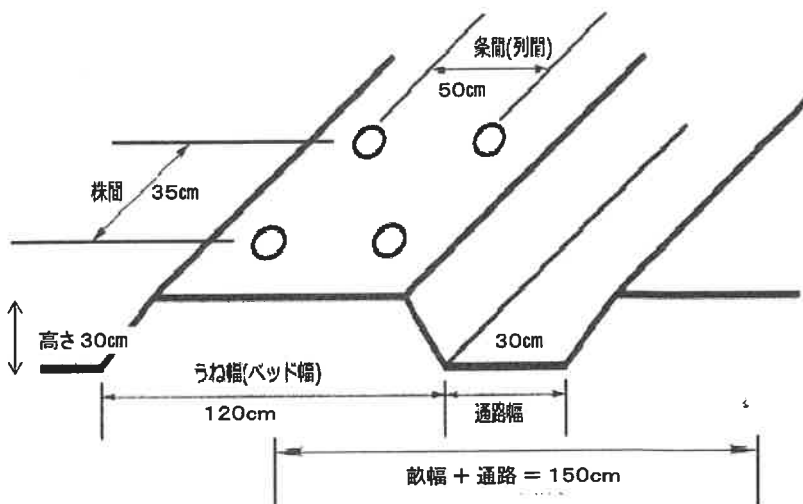
(Kg/10a)

肥料名	N	P	K	総量	基肥	待肥	追肥①	追肥②	追肥③	N	P	K
完熟堆肥 または 新ふりかけ堆肥エコ	-	-	-	2000	2000							
	1.9	2.1	1.0	200	200					3.8	4.2	2.0
粒状炭酸苦土石灰	0	0	0	100	100	根こぶ病が心配される場合は 200kg				0.0	0.0	0.0
BMようりん	0	20	0	40	40					0.0	8.0	0.0
やさい1号	12	10	12	80	80					9.6	8.0	9.6
磷硝安加里S604	16	10	14	20		20				3.2	2.0	2.8
化成肥料20-0-10	20	0	10	50			30	20		10.0	0.0	5.0
										26.6	22.2	19.4

- ◎定植1か月前に、完熟堆肥または新ふりかけ堆肥エコと粒状炭酸苦土石灰・BMようりんを散布し耕耘します。
- ◎定植1週間前～前日に、やさい1号を全面に散布し、できるだけ土を細かくするように耕耘し、畝立てします。
- ◎畝幅(ベッド幅)120cm・高さ30cm・畝間150cmに畝を立てます(JA定植機利用の場合は必須です)。
- ◎畝立後、畝表面(苗が植わる部分あたり)に燐硝安加里S604を撒いておきます(待肥)。
- ◎排水溝を設置し、尻水戸まで溝を施工してください。
- ◎定植まで日数がある場合は雑草が生えないよう、畝立て後に除草剤を散布しておきましょう。



【貸出定植機】  
乗用半自動野菜移植機 クボタベジライダー



## は種・育苗

【10a当りのセル成型育苗に必要な資材(例)／予備苗含む】

コート種子	セルトレイ	水稻育苗箱	育苗培土(床土) 与作N-150	育苗培土(覆土) パーミキュライト 30ℓ
約4,000粒	128穴 30枚	30箱	2.5袋	0.4袋

定植適期の苗



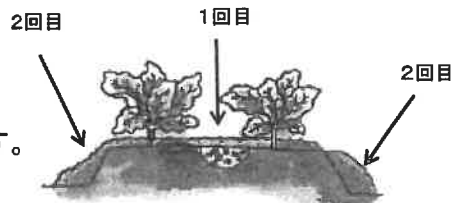
根が黒っぽくなっていたら老化、根腐れ。活能が悪くなる。

- ◎ 水稻育苗箱にセルトレイを入れ、与作N-150をトレイ穴に均一に詰めます。
- ◎ 培土を詰めた後、鎮圧板等でセル穴中央に凹みをつけます。
- ◎ 各穴にコート種子を1粒ずつ、中央に播き、パーミキュライトで覆土します。
- ◎ トレイの底から水が出るまでたっぷり灌水し、発芽するまで屋内の涼しい場所に置きます。
- ◎ セルトレイを重ねる場合は10枚までとし、乾かないようにビニール等を被せます。
- ◎ 1日半程度で発芽するので日中を避けて育苗ハウスに並べます。遅れると徒長してしまいます。(例：午前中に播種し、翌日の夕刻に並べる、または夕刻に播種し、翌々日の早朝に並べる)
- ◎ 育苗ハウスは遮光率40%程度の白色寒冷紗等で遮光します。
- ◎ 灌水は生育や天候により調節し、夕方～夜間に水分が多いと徒長するので午後3時以降は灌水しません。
- ◎ 遮光用寒冷紗等を撤去する場合は、曇天日か夕方に行います。
- ◎ 発芽2週間頃から肥切れする(双葉が黄色になる)ことがありますので、その場合は液肥500倍液を灌水します。

## 定植

- ◎ は種後25日・本葉2.5～3.0葉期を目安に定植します。
- ◎ 条間50cm、株間は35cmを基準に定植します。
- ◎ 育苗後半～定植当日に、殺虫剤(プレバソンフロアブル5等)をジョウロ等で灌注します。
- ◎ 定植後に灌水をします。
- ◎ 定植後、雑草発生前にアグロマックス水和剤等の除草剤を散布します。

追肥の位置



## 追肥・中耕

- 【1回目】 定植15日～20日後に、条間へ化成肥料20-0-10を30kg/10a施し、中耕します。
- 【2回目】 定植30日～40日後に、畝肩へ化成肥料20-0-10を20kg/10a施し、中耕します。

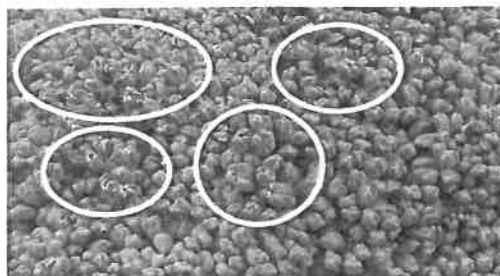
## 灌水

- ◎ 降雨が少ない場合は灌水を行い、養分吸収の時期が遅れないようにします。
- ◎ 灌水は、スプリンクラーや灌水チューブ等の散水設備で行うと効果的です。
- ◎ 畝間灌水すると雑草が著しく発生しますが、やむを得ず行う場合は速やかに排水させましょう。

## 収穫

- ◎ 未開花で蕾の粒が目立たないうちに収穫します。
- ◎ 高温時はすぐに蕾が咲いてしまうので収穫遅れに注意します。
- ◎ 収穫は、朝露の残る午前9時くらいまでを目安とします。
- ◎ 降雨時は切り口から腐りやすいので、収穫を控えましょう。
- ◎ 包丁は、ステンレス製またはセラミック製をご使用ください。

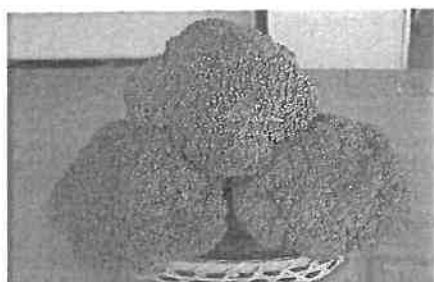
開花直前の様子(規格外品)



## 等級(品質)区分

【市場出荷】 ※ 事前に出荷目合わせ会を実施しますので参加してください

A	B	規格外(出荷不可)
品種固有の形状・色艶を有し、花蕾のしまりがよく、さらに挿葉が無く、病害虫および傷害のないもの	A に次ぐ品位を有するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ A・Bに満たないもの</li> <li>◆ 商品性がありそうであっても虫害が目立つもの</li> <li>◆ 花蕾の直径が9cm未満および16cm以上のもの</li> </ul>



A(秀)品



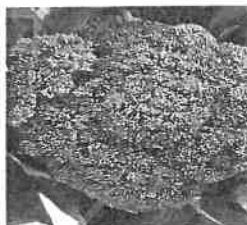
B(優)品



B(優)品

### 品種固有の形状・色艶

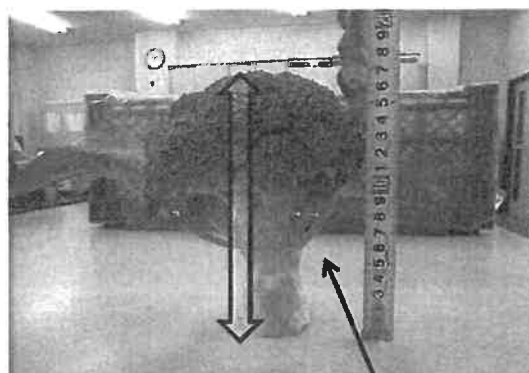
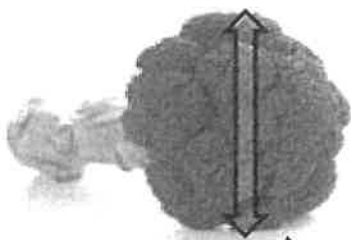
- ◎ 上から見て円に近い形のものがよい。
- ◎ 小房と小房の間に隙間があるものは、B(優)品扱いとします。
- ◎ 色艶に色むらのあるものは、B(優)品とします。



### 花蕾のしまり

- ◎ 手で花蕾を軽く抑えて固いものがよい。
- ◎ ふんわりとした感覚のものは緩んでいます(収穫遅れ)。

花蕾が緩んでいる様子(規格外品)



## 階級区分

【市場出荷】

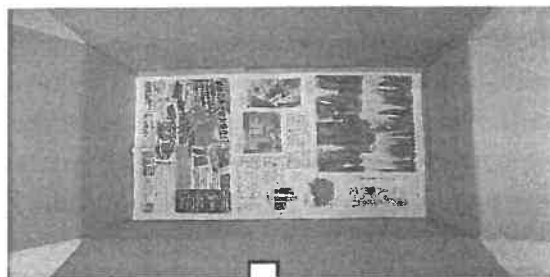
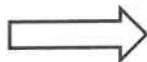
区分	箱詰個数	花蕾の大きさ	調整
3L	12	直径15cm以上～16cm未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 葉を残す場合は、2枚以下にしてください。</li> <li>◆ 花蕾の先端より1.5cm～1.7cmの間で切り揃え、水を切ってから出荷容器に詰めてください。</li> <li>◆ 切り口は水平に切ります。</li> <li>◆ 切り口の変色を防ぐためにステンレスまたはセラミック包丁を使用してください。</li> </ul>
2L	16	直径14cm以上～15cm未満	
L	20	直径12cm以上～14cm未満	
M	20	直径9cm以上～12cm未満	

※ L、2L サイズの花蕾が比較的高く取引され、M、3L サイズは劣る傾向にあります。また、3Lは花蕾数当たりの箱代が高くなります。

## 詰め方

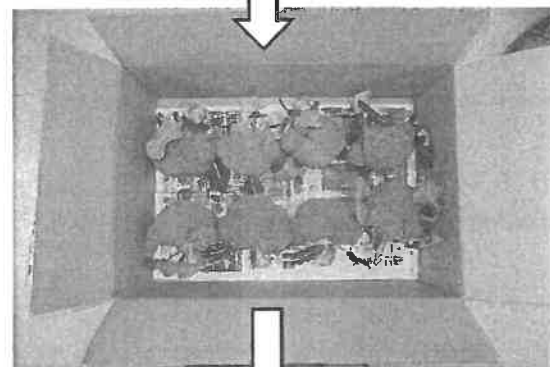
① 野菜出荷ダンボールを使用します。(JA購買)

② 新聞紙を中に敷きます。

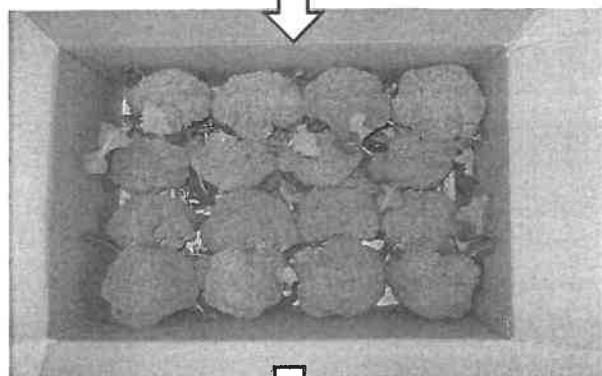


③ 花蕾側をコンテナ中央に向い合せに寝かせて

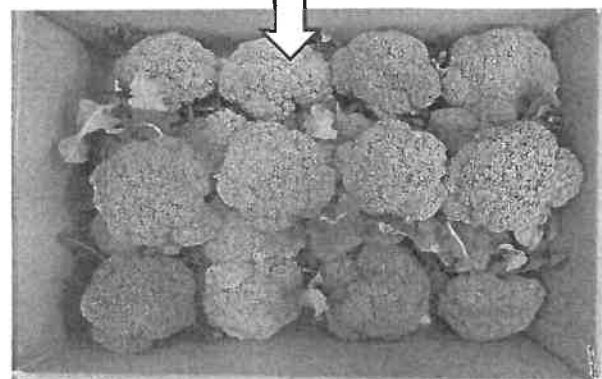
片側4つ(左右で8つ)並べます。



④ ③で並べた花蕾の茎と茎の隙間に花蕾を立て、  
茎を下向きにした状態で片側4つ差し込みます。  
2Lサイズの場合は、これでコンテナ詰めは終了です。  
4×4の合計16花蕾となります。



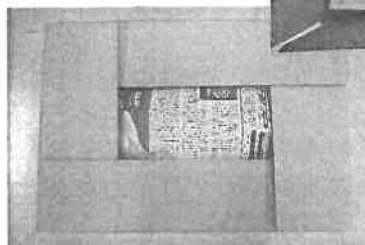
⑤ 真ん中にも、④の状態にした花蕾を4つ差し込みます。  
L・Mサイズの場合は、ここまで詰めてください。  
4×5の合計20花蕾となります。



※ 順序は、やりやすい順番に変更いただいても結構です。

⑥ 時期によっては、  
ブロッコリーの上に新聞紙を置き、ダンボールを閉じます。

⑦ 出荷者札をダンボール側面(片方)に貼ります。



産地・品名	滋賀県産 ブロッコリー	規格	入数
納品者名	東びわこ農業協同組合		
生産者名	等級	3L	12
		2L	16
	A B	L	20
		M	20

## 5. 病害虫雑草防除暦(例)

フロッキーの葉は水をはじきやすいので  
展着剤(グラミンS等)を添加します  
※プレバソフルアブル5 灌注、除草剤を除きます

作業名 または時期	暦日例	用途	農薬名	対象病害虫	希釈倍数等	使用回数
				対象雑草		使用時期
は種	8月7日頃	—	—	—	—	—
育苗期	8月21日頃	殺虫	バダンSG水溶剤	コナガ	1500倍	4回以内 収穫7日前まで
畝立後定植前	8月30日頃	除草	クレマート乳剤	一年生雑草	200ml/10a 散布液量 100~150ℓ 全面土壌散布	1回 定植前 (雑草発生前)
定植直前	8月31日頃	殺虫	プレバソ フロアブル5	コナガ アトム ハスモンヨトウ	100倍 成型育苗 1箱当り 0.5ℓ 灌注	1回 育苗期後半~ 定植当日
定植	9月1日頃	—	—	—	—	—
定植直後	9月3日頃	除草	アグロマックス 水和剤	一年生雑草 (科・ヤツリガ サ科を除く)	200~300g /10a 散布液量 100ℓ/10a 全面土壌散布	1回 定植後 雑草発生前 但し、定植14日 後まで
定植25日後	9月26日頃	殺菌	スターナ 水和剤	花蕾腐敗病 軟腐病 黒斑細菌病	2000倍 散布液量 100~300ℓ /10a	2回以内 収穫14日前 まで
		殺虫	プレオフロアブル	コナガ シロイモジヨトウ ハスモンヨトウ	1000倍 散布液量 100~300ℓ /10a	2回以内 収穫7日前 まで
定植35日後	10月6日頃	殺菌	アフエットフロアブル	菌核病 黒すす病 根朽病	2000倍 散布液量 100~300ℓ /10a	3回以内 収穫前日まで
		殺虫	ゼンターリ 顆粒水和剤	アトム コナガ ヨトウムシ オオタバコガ シロイモジヨトウ ハスモンヨトウ	1000~ 2000倍 散布液量 100~300ℓ /10a 1000倍 散布液量 100~300ℓ /10a	— 発生初期 但し、 収穫前日まで
定植45日後	10月16日頃	殺虫	プロフレアSC	コナガ ハイマダラメイガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ アトム ウバ類 オオタバコガ シロイモジヨトウ	2000~ 4000倍 散布液量 100~300ℓ /10a	3回以内 収穫前日まで
定植55日後	10月26日頃	殺虫	モスピラン 顆粒水溶剤	アトム アザミウマ類 アブラムシ類 コナガ	2000倍 散布液量 100~300ℓ /10a	3回以内 収穫14日前 まで
定植65日後	11月5日頃	殺虫	プレバソ フロアブル5	アトム コナガ ハイマダラメイガ ハスモンヨトウ	2000倍 散布液量 100~300ℓ /10a	3回以内 収穫前日まで
収穫開始	11月上中旬~	—	—	—	—	—



コナガ

### プレバソフルアブル5

- 灌注には展着剤を加用しない
- 定植3~5日前灌注が効果的
- 適度な水分を含んだ培地で処理

### アグロマックス水和剤

- 展着剤を加用しない
- 定植後散布は霧状にならないように低圧で
- 保水性の高い水田転換畑では200g/10aで使用



アブラムシ



オオタバコガ(幼虫)  
老齢幼虫 約40mm



軟腐病と黒すす病は  
発病初期は似たような  
褐変症状を示す

この農薬リストは、令和5年3月1日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。農薬メーカー間により登録内容に違いがある場合があるため、農薬を使用する前には、必ずラベルを確認し、記載内容を守って使用してください。

【参考】その他登録農薬の例（希釈倍数、使用量、散布液量、使用回数、使用回数、使用方法等はラベルをお読みください）

害虫多発時	農薬名	使用時期
	対象害虫	
	◆アフーム乳剤	収穫3日前まで
	アトムシ コナガ ヨトムシ オオタバコガ ハスモンヨトウ	
	◆スタークル顆粒水溶剤	収穫3日前まで
	アブラムシ類	
	◆コテツフロアブル	収穫3日前まで
	アトムシ コナガ ハスモンヨトウ ヨトムシ シロイチモジヨトウ	
	◆ハチハチ乳剤	収穫7日前まで
	アトムシ アブラムシ類 コナガ	
◆ディアナSC	収穫前日まで	
アトムシ アザミウマ類 ウワバチ類 オオタバコガ コナガ ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ ヨトムシ シロイチモジヨトウ		

病害発生時等	農薬名	使用時期
	対象病害	
	◆カスミンボルドー	収穫7日前まで
	黒腐病	
	◆ダコニール1000	出蕾前 但し、収穫21日前まで
	べと病	
	◆スターナ水和剤	収穫14日前まで
	黒斑細菌病 軟腐病 花蕾腐敗病	
	◆ランマンフロアブル	収穫3日前まで
	べと病	
◆アミスター20フロアブル	収穫3日前まで	
べと病 黒すす病 菌核病		
◆Zボルドー	—	
花蕾腐敗病 軟腐病 べと病 黒腐病 など		

根こぶ病対策	農薬名	使用時期
	◆ネビリュウ	播種または定植前

畝間除草 (雑草生育期)	農薬名	使用時期
	◆バスタ液剤	収穫前日まで

この農薬リストは、令和5年3月1日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。  
農薬メーカー間により登録内容に違いがある場合があるため、農薬を使用する前には、必ずラベルを確認し、記載内容を守って使用してください。

## 6. 収支試算例(10a当り)

出荷花蕾数	3,000 花蕾
販売単価	85 円/花蕾
販売金額	255,000 円

成苗代	45,000 円
生産経費	87,500 円
機械利用料	6,600 円
出荷経費	47,500 円
経費合計	186,600 円

所得	68,400 円
----	----------

※経費は、現在(R5.5月)の料金体系・価格をもとに試算しております。

※経費合計には、自前機械の償却費  
燃料費、人件費は含んでいません。

## 7. 【参考例】作業別労働時間(10a当り)

平成30年(2018年)3月滋賀県発行 農業経営ハンドブックより

作業	時間
は種	1
育苗管理	12
定植準備	6
定植	5
中耕・追肥	6

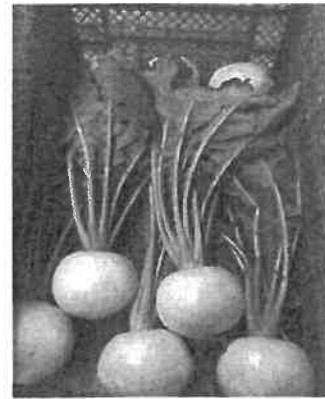
作業	時間
病虫害防除	4
収穫・調製	104
出荷	8
後始末	2
合計	148

# ハウス 白カブ (アブラナ科) 水稲育苗ハウス等利用

1. 栽培型 中カブ (秋まき 年内～2月収穫) 葉付き  
 目標収量 2,000玉/3a

## 栽培暦

9月			10月			11月			12月			1月			2月				
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
			は種								収穫								
				は種							収穫								
					は種						収穫								
					は種						収穫								
						施肥	粒剤施用	除草剤散布	は種15日後に追肥		防除		防除						
									ネキリムシ粒剤施用										



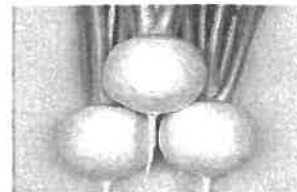
## 2. 作付品種

品種名: CR味くらべ

- 特性: ◎根こぶ病抵抗性品種です。  
 ◎球は腰高でツヤのある純白色で揃いが良く、早太りで小～中カブまで随時収穫できます。  
 ◎最大の根径は12cm程度です。  
 ◎草姿は立性・葉色濃緑で徒長しにくく、葉軸ががっちりしているので、収穫や調整作業が楽です。  
 ◎「す」入りは遅く、根割れも少なく、肉質はやわらかで甘味のある品種です。

## 3. 栽培のポイント

- 1) 堆肥などの有機物をできるだけ早い時期に施用して、耕耘しておきましょう。
- 2) 育苗ハウスの内から外へ排水溝を設け、さらに土壤に応じてベッド幅、畝の高さを調整しましょう。
- 3) 球の空洞発生を避けるため、窒素過多とならないよう前作の肥料残りも考慮した施肥をしましょう。
- 4) ホウ素欠乏が出やすいので、やさい1号などB入り肥料を使用します。
- 5) 病虫害予防散布に心掛け、病害予防のため生育中は換気に努めましょう。
- 6) 2Lサイズ(10～11cm)を目標に、株間15cm・条間25cmを基準にします。
- 7) 害虫を遠ざけるため、ハウス周囲の除草を徹底しましょう。
- 8) 根こぶ病抵抗性品種ですが、病原菌密度や菌の系統(レース)により発病することがあります。



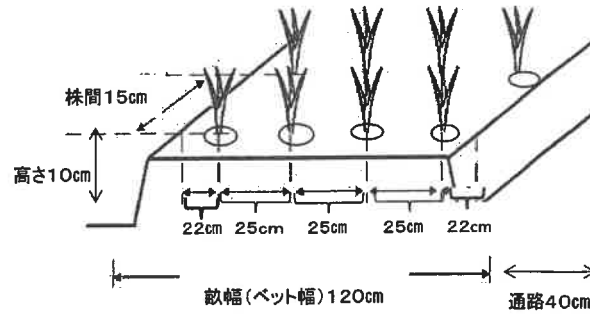
## 4. 作業・技術内容

### ほ場の準備 (施肥)

※ 水稲育苗跡ハウス等で、肥料分が残っていない場合 (Kg / 3a)

肥料名	N	P	K	総量	基肥	追肥①				N	P	K
完熟堆肥				600	600					0.0	0.0	0.0
または 新ふりかけ堆肥工コ	1.9	2.1	1.0	60	60					1.1	1.3	0.6
粒状炭酸苦土石灰	0	0	0	30	30					0.0	0.0	0.0
やさい1号	12	10	12	25	25					3.0	2.5	3.0
燐硝安加里S604	16	10	14	10		10				1.6	1.0	1.4
									合計	5.7	4.8	5.0

- ◎ 排水性が劣るハウスでは栽培できません。
- ◎ 定植1か月前までに、完熟堆肥またはふりかけ堆肥エゴを散布し、耕耘しましょう。
- ◎ は種10日前までに粒状炭酸苦土石灰を施用し、すぐに耕耘しましょう。
- ◎ は種7日前～前日までにやさい1号を施用し、畝を立てましょう。
- ◎ 畝幅(ベッド幅)120cm(4条まき)、通路40cm、高さ10cm以上の畝を立てます。
- ◎ 間口7.5mハウスの場合、4畝立てます。ハウス背骨パイプから露が畝上に落ちないようにします。



## は 種

- ◎ 種子量の目安は1粒まきで3a当り約20mlです。
- ◎ ひと畝4条まきを基準とし、条間25cmにします。条間が狭いと通気が悪くなり、生育が劣ります。
- ◎ 播種機を利用する場合は、株間15cm、深さ5mm程度になるように調整します。
- ◎ 虫害予防のため、播種前に殺虫剤(スタークル粒剤など)を播溝土壌混和しておきます。

## 間 引 き(必要な場合)

- ◎ 2～3粒まきの場合、子葉が小さい株や不正形な株を間引きます。
- ◎ 本葉3枚～4枚までに間引き、1本にします。

## 追 肥

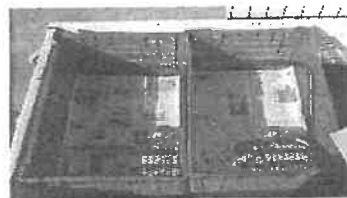
- ◎ 間引き後に、燐硝安加里S604を10kg/3a 条間へ施用します。

## 収穫・調整

- ◎ は種後約70日～90日で、根径10cmの2Lサイズに育ちます。
- ◎ 直径10cm未満のサイズは需要がありませんので、サイズを確認して10cm以上になってから収穫します。
- ◎ 収穫後にカブを十分に洗浄し水をきってください。
- ◎ 乾いたカブ表面に傷や汚れがないか確認してください。
- ◎ ひげ根を取り除き、病気や虫害がひどい葉は取り除いてください。
- ◎ 根径を揃えてコンテナに詰めます。

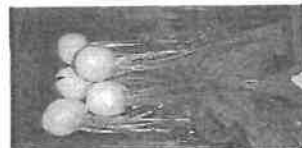
### コンテナ詰め手順

白かぶ・赤丸かぶ出荷(荷姿)



S.C.R. 626 S

626コンテナの底に新聞紙を敷きます。敷いた新聞紙を軽く濡らします。



新聞紙の上に5本並べます。(1段目)



5本並べた上に、向きを反対にして、1段目と同じように5本並べます。(2段目)



1段目5本、2段目5本並べたら、その上に濡れ新聞紙を掛けます。

最後にコンテナの横に出荷者のレッテルを差し込み出荷します。



出荷



## 等級(品質)区分

※ 事前に目合わせ会を実施しますので参加してください

A(秀)品	B(優)品	規格外 (出荷不可)
◆品種固有の形状・色沢を有し、病害虫、傷害、裂根の無いもの ◆「す入り」の恐れが無いもの	◆Aに次ぐもので、病害がなく虫害跡がわずかなもの	◆A・Bに満たない虫害跡があるもの



キスジノミハムシ加害跡

## 階級区分

区分	1個の大きさ (横径)	1個の重量 (葉付き)	出荷形態	入数
3L	直径11cm以上	680g以上~910g未満	出荷用 コンテナ (NO.626)	10本
2L	直径10cm以上~11cm未満	500g以上~680g未満		10本
L	直径9cm以上~10cm未満	390g以上~500g未満		20本

推奨サイズ (需要 少なし)

※入数は定数詰めです。Lでコンテナに20株詰められない場合は15株(10株)詰めし、出荷ラベル入数を修正し、送り状にも実株数を記載します。

## 5. 病害虫雑草防除暦(例)

※展着剤(グラミンS)を必ず添加してください  
ただしアミスター20フロアブル、除草剤には添加しない。(薬害)

作業名 または時期	暦日例	用途	農業名	対象病害虫 対象雑草	希釈倍数 使用量	使用回数
						使用時期
は種時	10月5日頃	殺虫	スタークル粒剤	キスジノミハムシ アブラムシ類	6kg / 10a 播溝土壌混和	1回 は種時
は種直後	10月5日頃	除草	ラッソー乳剤	1年生雑草	150ml / 10a 散布液量 100ℓ / 10a 全面土壌散布	1回 は種直後
は種7日後	10月12日頃	殺虫	ネキリエースK	ネキリムシ類	3kg / 10a 土壌表面株元処理	2回以内 収穫30日前まで
は種15日後	10月20日頃	殺虫	エルサン乳剤	ヨトウムシ ハマモノトウ カブラハバチ幼虫 アザミウマ類	1000倍 散布液量 100~300ℓ / 10a	2回以内 収穫30日前まで
				コナガ	1000~1500倍 散布液量 100~300ℓ / 10a	
				アオムシ アブラムシ類 ハマダラカ ダイコンハムシ キスジノミハムシ オニジユウキツシテントウ	1000~2000倍 散布液量 100~300ℓ / 10a	
は種30日後	11月4日頃	殺菌	アミスター20 フロアブル	白さび病 白斑病	2000倍 散布液量 100~300ℓ / 10a	2回以内 収穫7日前まで
		殺虫	モスピラン 顆粒水溶剤	キスジノミハムシ アブラムシ類 カブラハバチ	2000倍 散布液量 100~300ℓ / 10a 4000倍 散布液量 100~300ℓ	1回 収穫21日前まで
は種50日後	11月24日頃	殺虫	ハチハチ乳剤	キスジノミハムシ コナガ アザミウマ アブラムシ類 ハマダラカ	2000倍 散布液量 100~300ℓ / 10a	1回 収穫7日前まで
収穫開始	12月中旬~	—	—	—	—	—

※ラッソー乳剤は砂質土で散布すると白斑を生じ



キスジノミハムシ



カブラハバチ 幼虫↑  
↓成虫

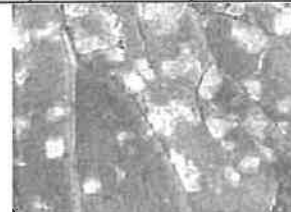


コナガ(幼虫)



コナガ(幼虫)

上記農業リストは、令和5年3月1日現在の農業登録情報に基づいて作成しています。  
農業メーカー間により登録内容に違いがある場合があるため、農業を使用する前には、必ずラベルを確認し、記載内容を守って使用してください。



白斑病



白さび病

【参考】その他登録農薬の例（希釈倍数、使用量、散布液量、使用回数、使用方法等はラベルをお読みください）

害虫多発時	農薬名	使用時期
	対象害虫	
	◆プレオフロアブル	収穫3日前まで
	ハスモンヨトウ	
	◆アフーム乳剤	収穫3日前まで
	コナガ	
	◆ディアナSC	収穫前日まで
	アオムシ コナガ ハスモンヨトウ	
	◆プレバソフロアブル5	収穫前日まで
	コナガ	
	◆コテツフロアブル	収穫前日まで
	コナガ ナモグリバエ ヨトウムシ	
	◆ダントツ水溶剤	収穫3日前まで
	アブラムシ類	
	◆ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期 但し収穫前日まで
アオムシ コナガ ヨトウムシ オオタバコガ シロイチモジヨトウ ハスモンヨトウ		

病害発生時等	農薬名	使用時期
	対象病害	
	◆ランマンフロアブル	収穫3日前まで
	べと病 白さび病	
	◆Zボルドー	—
べと病 黒腐病 軟腐病 など		

根こぶ病対策	農薬名	使用時期
	◆ネビリュウ	は種前
	◆ランマンフロアブル	は種時(灌注)

畝間除草 (雑草生育期)	農薬名	使用時期
	◆パスタ液剤	収穫21日前

農薬リストは、令和5年3月1日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。  
農薬メーカー間により登録内容に違いがある場合があるため、農薬を使用する前には、必ずラベルを確認し、記載内容を守って使用してください。

## 6. 収支試算例(3a当たり)

出荷量	2,000 玉
販売単価	85 円/玉
販売金額	170,000 円

種苗費	2,300 円
生産経費	20,400 円
機械利用料	330 円
出荷経費	50,530 円
経費合計	73,560 円

所得	96,440 円
----	----------

※販売金額は、近年2カ年の販売単価にて試算しております。

※2L、L規格を基準とした場合で試算しております。

※経費は、現在(R4.5月)の料金体系・価格を元に試算しております。

※経費合計には、自前機械の償却費、燃料費、人件費は含んでいません。

## 7. 【参考例】作業別労働時間(3a当たり)

滋賀県農業経営ハンドブック(平成24年(2012年)12月)より


作業名/作物名	簡易施設栽培
ほ場準備	2.2
マルチング	0.6
は種・病害虫防除	2.2
灌水	—
栽培管理	2.2
除草剤散布	—

作業名/作物名	簡易施設栽培
間引き	3.4
中耕・追肥	—
病害虫防除	1.3
収穫	35.8
調製・出荷	12.7
後始末	6
合計	66.4

# ナバナ（アブラナ科）

1. 栽培型 露地、直播栽培 目標収量 500kg/10a

## 栽培暦

8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月													
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中												
土壤改良資材 排水対策			施肥			は種			間引き			追肥① 土寄せ			防除②			摘芯			追肥②			防除③			追肥③			追肥④			収穫出荷	
																																		

## 2. 作付品種

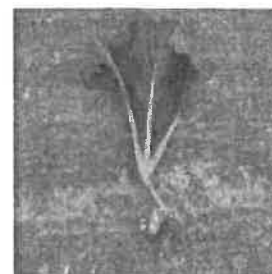
品種名： 花飾り（はなかざり）

- 特性：
- ◎ 耐寒性の強い中生品種です。
  - ◎ 生育旺盛で太い側枝がよく発生します。  
ただし、株間が狭すぎると側枝の発生が抑えられます。
  - ◎ 根こぶ病抵抗性品種（CR品種）ではありません。



## 3. 栽培のポイント

- 1) 排水不良地では栽培できません。明渠は必ず施工しましょう。
- 2) 水稲跡の場合は、水稲の中干し徹底、収穫後には排水溝を掘り、ほ場を乾かせましょう。
- 3) 根こぶ病の防止のため、酸性土壤の改良・排水対策等を行いましょ。また過去に根こぶ病が発生したほ場は、5年以上アブラナ科野菜の作付を避けて予防剤（ネビリュウ等）を施用します。
- 4) 登録農薬が少ないので、病害虫の被害が多い早まきは避けましょ。
- 5) 9月まきなら1日～2日で発芽します。
- 6) 頂花蕾摘芯時に追肥して収穫前に肥料分を吸収させ、天候に恵まれれば収穫中にも追肥します。
- 7) 収穫は蕾が固いうちに行い、蕾が黄色く見ると収穫遅れです。



根こぶ病が発生した株

## 4. 作業・技術内容

### ほ場の準備（施肥）

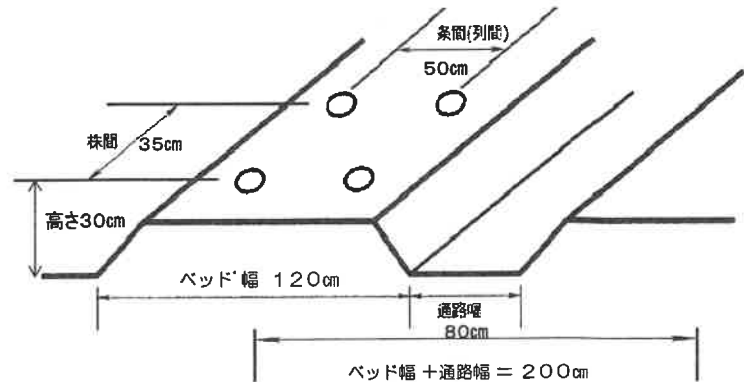
(kg/10a)

肥料名	N	P	K	総量	基肥	追肥①	追肥②	追肥③～④	N	P	K
ペレットけいふん	2～3	6～7	3～4	120	120				2.4～3.6	7.2～8.4	3.6～4.8
粒状炭酸苦土石灰	0	0	0	200	200				0	0	0
BMようりん	0	20	0	40	40				0	8	0
やさい1号	12	10	12	80	80				9.6	8	9.6
化成肥料20-0-10	20	0	10	90		30	20	20×2	18.0	0	9
または尿素(追肥③)～	46	0	0	20				10×2	(9.2)	0	0
									26.0～27.8	23.2～24.4	20.2～21.4

- ◎ は種1か月前にペレットけいふんを散布し耕耘します。
- ◎ は種1～2週間前に粒状炭酸苦土石灰、BMようりんを散布し耕耘します。
- ◎ は種数日前にやさい1号を施用して耕耘・畝立てします。
- ◎ 特に水稲跡ほ場では丁寧に耕耘し、発芽を揃えとともに除草剤の効果を高めます。

## 直播栽培(は種)

- ◎ 畝幅(ベッド幅)120cm・高さ30cm、通路幅は収穫作業を考慮して80cmを目処に畝を立てます。
- ◎ 種子量(裸種子)は1か所4粒まで、10a当り80mlが目安です。
- ◎ 播種機等で2条播き(条間50cm)、株間35cm(点播き)で、1か所4粒播き、播種深3~5mmとします。
- ◎ コート種子の場合は1か所1粒播き、10a当り3,000粒が目安です。
- ◎ コート種子を使用する場合は補植用に、50~60粒を別途播種しておきます。
- ◎ は種後、除草剤(トレファノサイド粒剤2.5)を均一に散布します。



## 間引き(裸種子の場合)

- ◎ 生育不良や生育過剰の株、子葉が不整形な株を間引きます。
- ◎ 本葉3枚の頃(は種後2週間)に間引き、株間35cmにしましょう。  
降雨により土が固くなっている場合は間引き後に条間を軽く中耕します。但し、除草剤処理層は壊れます。

## 追肥・土寄せ

- 【1回目】 草丈10cm位で本葉5枚程度の頃(は種後3週間)に、条間へ化成肥料20-0-10を30kg/10a施し除草を兼ねて軽く中耕します。
- 【2回目】 追肥①の1か月後を目処に畝肩に化成肥料20-0-10を20kg/10a施し、土寄せをします。
- 【3回目以降】 頂花蕾摘心時に化成肥料20-0-10を20kg/10a施し、収穫前に肥料分を吸収させます。化成肥料20-0-10の代わりに、尿素を10kg/10a施用しても結構です。  
以降は天候、生育に応じて、1か月ごとに追肥します。

## 灌 水

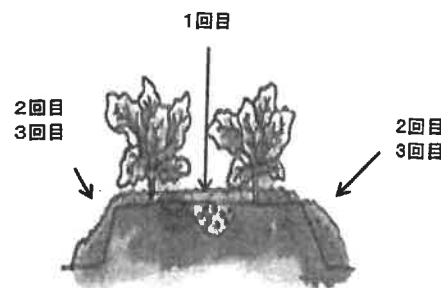
- ◎ 降雨が少ない場合は肥料が効きにくいので灌水を行い、肥効を高めます。

## 摘 芯

- ◎ 頂花蕾が10cm程度になったら摘芯し、側枝の伸長を促します。

## 管 理

- ◎ 積雪があると、葉色が淡くなったり折れたりしますが、収穫に支障がなければ葉は着けたままにしておきます。



## 収穫

- ◎花蕾が伸び、開花前に茎葉を付けて摘み取りましょう。
- ◎目安は8cm～10cmです。12cm以上は厳禁です。
- ◎収穫が遅れ花が咲くと商品にならないので、適期収穫に努めてください。

### 出荷

#### 【等級区分】

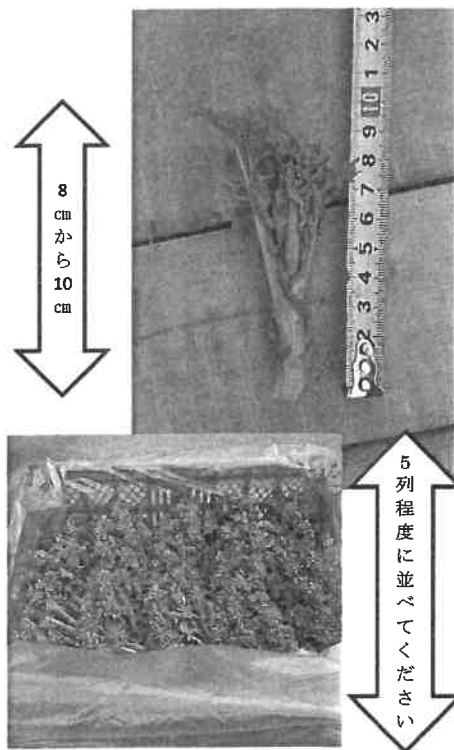
- ◆花蕾が黄色く見えないもので、かつ褐変等していないもの。
- ◆アブラムシ等がついていないもの。
- ◆花茎の直径は、概ね1cm以下のもの。
- ◆規格外は、出荷不可。

#### 【荷姿】

- ◆ レンタルコンテナ(No.6415)出荷になります。
- ◆ コンテナ用袋を敷き入れます。
- ◆ 花蕾から8cm～10cmに長さを調整し、詰めます。
- ◆ 花蕾を斜めにして5列程に並べ、風袋別で3.2kg詰めてください。
- ◆ コンテナ袋の口を覆い、完了です。

#### 【端数出荷】

- ◆ 1回の出荷に対し、1農家1コンテナ以内に限ります。



## 5. 病虫害雑草防除暦(例)

作業名 または時期	暦日例	用途	農薬名	対象病害虫 対象雑草	希釈倍数 使用量	使用回数
						使用時期
は種時	9月20日頃	殺虫	ダイアジノン粒剤5	ケ 科類 コガ 科類幼虫	6kg/10a 全面土壌混和	1回
				科類		は種時
						定植時
は種	9月20日頃	—	—	—	—	—
は種直後	9月20日頃	除草	トレファノサイド 粒剤2.5	一年生雑草 (ツメクサ科、カツリガサ科 科、アブラ科を 除く)	4kg/10a 全面土壌散布	1回
						は種直後
は種15日後	10月5日頃	殺虫	スタークル 顆粒水溶剤	アブラムシ類	3000倍 散布液量 100～300ℓ/10a	2回以内
				キスジ/ミノムシ	2000倍 散布液量 100～300ℓ/10a	収穫3日前まで
は種30日後	10月20日頃	殺虫	アフーム乳剤	アオムシ コガ バハマダラメイガ ハマモトウ ヨウムシ	1000～2000倍 散布液量 100～300ℓ/10a	2回以内
						収穫7日前まで
は種45日後	11月5日頃	殺虫	モスピラン 顆粒水溶剤	アブラムシ類 カブラハチ キスジ/ミノムシ	4000倍 散布液量 100～300ℓ/10a	1回
						収穫14日前まで
は種60日後	11月20日頃	殺虫	プロフレアSC	コガ アオムシ キスジ/ハムシ	2000～4000倍 散布液量 100～300ℓ/10a	3回以内
						収穫前日まで
は種75日後	12月5日頃	殺虫	スタークル 顆粒水溶剤	アブラムシ類	3000倍 散布液量 100～300ℓ/10a	2回以内
				キスジ/ミノムシ	2000倍 散布液量 100～300ℓ/10a	収穫3日前まで

【参考】その他登録農薬の例（希釈倍数、使用量、散布液量、使用回数、使用方法等はラベルをお読みください）

害虫多発時	農薬名	使用時期
	対象害虫	
	◆コテツフロアブル	収穫3日前まで
	ハズエンヨウ	
	◆ディアナSC	収穫前日まで
	ジャガ ハズエンヨウ ハウライダニ アザミヨウ類	
	◆ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期但し収穫前日まで
アホムシ ジャガ ヨウムシ オオバジャ ヨイモシヨウ ハズエンヨウ		
◆バダンSG水溶剤	収穫7日前まで	
ジャガ アブラムシ類		

病害発生時等	農薬名	使用時期
	対象病害	
	◆ダコニール1000	出蕾前 但し、収穫21日前まで
	白さび病 ペと病 白斑病 黒斑病	
	◆ランマンフロアブル	収穫3日前まで
	白さび病	
	◆カスミンボルドー	収穫14日前まで
黒腐病		
◆Zボルドー	—	
黒腐病 黒斑細菌病 軟腐病 ペと病 など		

根こぶ病予防	農薬名	使用時期
	◆ネピリュウ	は種前
	根こぶ病	
	◆ネピジン粉剤	は種前又は定植前
根こぶ病		

上記農薬リストは、令和5年3月1日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。  
農薬メーカー間により登録内容に違いがある場合があるため、農薬を使用する前には、必ずラベルを確認し、記載内容を守って使用してください。

## 6. 収支試算例(10a当り)

出荷量	700 kg
販売単価	780 円/kg
販売金額	546,000 円

種苗代	2,200 円
生産経費	58,800 円
機械利用料	1,100 円
出荷経費	94,200 円
経費合計	156,300 円

所得	389,700 円
----	-----------

※販売金額は、直近3カ年の販売単価にて試算しております。  
※経費は、現在（R5.5）の料金体系・価格を元に試算しております。  
※経費合計には、自前機械の償却費、燃料費、人件費は含んでいません。

## 7. 【参考例】作業別労働時間(10a当り)

平成30年（2018年）3月滋賀県発行、農業経営ハンドブックより（単位：時間）

作業名/作物名	ナバナ 露地
ほ場準備	8
は種・粒剤施用	5
間引き・補植	6
追肥・土寄せ	14

作業名/作物名	ナバナ 露地
病虫害防除	10
栽培管理	2
収穫・調製・出荷	553
後始末	12
合計	610

※上記ナバナ露地は、パック詰め出荷の場合です。

# 加工工用 タマネギ (ヒガンバナ科)

## 1. 栽培型 11月定植 6月収穫

目標収量: 5,000 kg/10a (20,000玉/10a)

加工向けタマネギは  
作付け前へJAへ取引  
覚書を提出してください。

### 栽培暦

9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月					
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
は種			定植																								収穫					
土壌改良資材 排水対策			基肥施肥			追肥①						追肥②			追肥③																	
			除草剤①									除草剤②			除草剤③																	
						防除①						防除②			防除③									防除④~⑨ 10日に1回防除 (べと病薬剤の残効性を考慮)			防除⑩ 仕上げ防除					

## 2. 作付品種

品種名: もみじ3号

- 特性: ◎草姿は立性で葉色濃く、軟腐病・根腐れ・葉枯れ症に強い晩生品種です。  
◎球は表皮がよく密着し、光沢があります。  
◎甲高球で良く揃い、首の締まり良く、貯蔵性にも優れます。

## 3. 栽培のポイント

- 1) 排水不良ほ場では収量が上がりません。明渠(排水溝)は十分に施工しましょう。
- 2) 石灰資材を施用し、野菜跡では地土壌分析を行い、適正な施肥量にしましょう。
- 3) 11月中旬までが定植適期で、遅くとも11月下旬までに定植します。
- 4) 畝幅(ベッド幅)は、定植機に合わせ130cmにしてください(畝上部110cm)。
- 5) 基肥は全層施肥で、活着の促進に努めましょう。
- 6) 早播き、太苗定植を避け、止肥は3月上旬までに施用しましょう。
- 7) べと病、腐敗玉(りん茎腐敗病、軟腐病)をしっかり防除しましょう。
- 8) 葉が倒伏し始めてから7日~10日後に収穫し、収穫後は腐敗防止のため、乾燥を徹底しましょう。



玉葱の発芽

## 4. 作業・技術内容

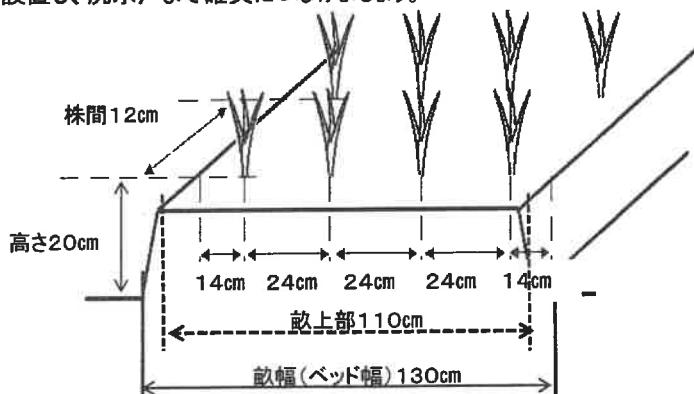
ほ場の準備: 施肥設計

(kg/10a)

肥料名	N	P	K	総量	基肥	待肥	追肥①	追肥②	追肥③	N	P	K
完熟堆肥 (または) 新ふりかけ堆肥エコ	-	-	-	2000	2000					-	-	-
粒状炭酸苦土石灰	1.9	2.1	1.0	200	200					3.8	4.2	2
BMようりん	0	0	0	150	150					0	0	0
やさい1号	0	20	0	20	20					0	4	0
やさい1号	12	10	12	120	120					14.4	12	14.4
磷硝安加里S604	16	10	14	60			20	20	20	9.6	6	8.4
合計										27.8	26.2	24.8

- ◎水稲跡で栽培する場合は、水稲の中干しをしっかり行い、刈取後は溝を切ってほ場をよく乾かし、碎土を丁寧に行いましょう。
- ◎定植1か月前に、新ふりかけ堆肥エゴ、粒状炭酸苦土石灰、BMようりんを散布し、耕耘します。
- ◎定植1週間前～前日までにやさい1号を散布し、畝を立てます。
- ◎JA定植機の設定は、畝幅(ベッド幅)130cm / 畝上部110cm / 高さ20cm です。
- ◎排水溝を設置し、尻水戸まで確実につなげましょう。

JA貸出定植機は  
畝上部110cm幅に



貸出用 歩行4条全自動移植機

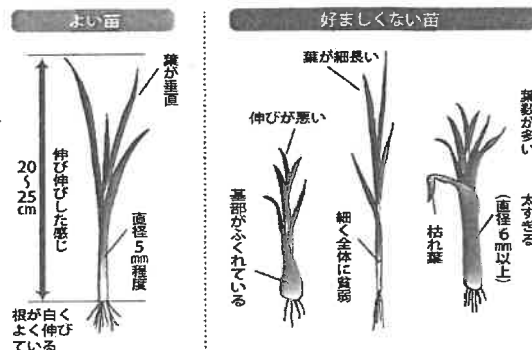
## 育苗

- ◎JAで定植苗の注文を受けています。播種だけの作業も受けます。
- ◎自家育苗(JAで播種)では播種後5日目頃にトレイをハウスに並べ、すぐに灌水します。
- ◎1日あたり1～数回灌水します。
- ◎育苗中の倒伏防止のため、3回～4回剪葉します(剪葉機を貸し出します)。一旦倒れると戻りません。
- ◎剪葉は、晴天日の午前中に行い、直前または直後に殺菌剤を散布します。
- ◎は種25日後頃から肥切れしますので、液肥500倍希釈を7日に1回の割合で灌注します、または省力型としてマイクロロングトータル40日タイプを30g/トレイ均一に施肥します。

### 【剪葉の目安】

剪葉回数	剪葉前	剪葉後	剪葉時期目安
1回目	20cm程度	10cm	は種後20～25日
2回目以降	20cm～25cm	15cm	は種後30～50日
移植前	20cm～25cm	15cm	は種後55～60日

※2回目以降は、葉の伸長にあわせ剪葉を行いましょう。



## 定植

- ◎JA貸出し移植機の場合は、10a当たり448穴トレイで45枚(約20,000本)が目安です。
- ◎降雨等によりほ場が湿けた場合は、定植を延期してください。
- ◎定植時にタネバエ防除として、ダイアジノン粒剤5などを畝上全面散布、または作条土壌混和します。
- ◎定植密度は、株間12cm・条間24cmの4条植えとします。
- ◎植付の深さは2cm～3cmとし、株元を鎮圧するように定植機を操作します。
- ◎深植えすると生育が遅れ、玉も小さくなります。
- ◎定植活着後に除草剤を散布します(5. 病虫害防除暦参照)。



## 追肥

- 【1回目】12月中下旬に 燐硝酸加里S604を 20kg/10a 施します。
  - 【2回目】2月上旬に 燐硝酸加里S604を 20kg/10a 施します。
  - 【3回目】3月10日までに 燐硝酸加里S604を 20kg/10a 施します。
- ※3回目の追肥が遅れると収穫・乾燥後の腐り玉が多くなります。

## 収穫・調整

- ◎収穫適期は、ほ場全体の80%の株の葉が倒伏してから7～10日後で、収量が最大になります。
- ◎収穫機やピッカー(拾い上げ機)を利用する場合は、ベッド幅130cmが最大です。
- ◎晴天日に収穫を行い、ほ場で乾燥させてください。雨に当てないよう週間天気予報を参考にしてください。
- ◎収穫後の乾燥が十分でないと、その後の貯蔵期間中に腐敗しやすくなりますので、十分に乾燥してください。



## 階級区分

区分	1個の大きさ(横径)
2L	9.5cm以上
L	8.0cm以上~9.5cm未満
M	7.0cm以上~8.0cm未満



## 5. 病害虫雑草防除暦(例)

殺菌剤には展着剤(グラミン)を必ず添加してください  
べと病予防には葉の分岐部分に薬剤がかかるように

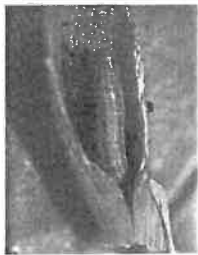
作業名 または時期	暦日例	用途	農薬名	対象病害虫	希釈倍数 使用量	使用回数 使用時期
は種	9月20日頃	—	—	—	—	—
育苗時	—	殺菌	ダコニール 1000	べと病 灰色かび病 白色疫病	1000倍	6回以内 収穫7日前まで
育苗時	—	殺菌	スターナ水和剤	軟腐病	1000倍	5回以内 収穫7日前まで
定植時	11月15日頃	殺虫	ダイアジノン 粒剤5	タネバエ タマネギバエ ケラ コオロギ	3~5kg/10a 全面土壌混和 又は作条土壌混和	2回以内 は種時 又は定植時
定植後	11月25日頃	除草	クロロIPC	一年生雑草	200~300ml/10a 全面土壌散布 希釈水量 70~100ℓ	2回以内 定植活着後 但し収穫30日前まで
12月中旬		殺菌	ダコニール 1000	べと病 灰色かび病 白色疫病	1000倍 散布液量 100~300ℓ/10a	6回以内 収穫7日前まで
2月上旬		除草	クロロIPC	一年生雑草	200~300ml/10a 全面土壌散布 希釈水量 70~100ℓ/10a	2回以内 中耕後 但し 収穫30日前まで
2月中旬		殺菌	Zボルドー	べと病 軟腐病 など	500倍 散布液量 100~300ℓ/10a	— —
3月上旬		除草	セレクト乳剤	一年生イネ科雑草	50~75ml/10a 希釈水量 100ℓ/10a	3回以内 イネ科雑草3~5葉期 収穫21日まで
		除草	バサグラン液剤	一年生雑草(イネ科を除く)	60~120ml/10a 雑草茎葉散布又は全面散布 散布液量70~100ℓ/10a	1回 移植後生葉4葉期まで 但し収穫30日前まで
		除草	ボクサー	一年生雑草	400~500ml/10a 希釈水量 100ℓ/10a	2回 定植後又は中耕後 (雑草発生前) 収穫45日前まで
3月中旬		殺菌	ベトファイター 顆粒水和剤	べと病 白色疫病	2000倍	3回以内 収穫7日前まで
4月上旬		殺菌	ランマン フロアブル	べと病 白色疫病	2000倍	4回以内 収穫7日前まで
4月中旬		殺菌	リドミルゴールドMZ	べと病 白色疫病	500~1000倍	3回以内 収穫7日前まで
4月下旬		殺菌	アミスター20 フロアブル	べと病 灰色かび病 白色腐敗病	2000倍	4回以内 収穫前日まで
5月上旬		殺菌	Zボルドー	べと病 軟腐病 など	500倍	— —
5月中旬		殺菌	ベトファイター 顆粒水和剤	べと病 白色疫病	2000倍	3回以内 収穫7日前まで
5月下旬		殺菌	スターナ水和剤	軟腐病	1000倍	5回以内 収穫7日まで
6月上旬 仕上げ防除(必須)		殺菌	Zボルドー	べと病 軟腐病 など	500倍	— —
収穫開始	6月中旬~	—	—	—	—	—

【参考】その他登録農薬の例（希釈倍数、使用量、散布液量、使用回数、使用方法等はラベルをお読みください）

害虫多発時	農薬名	使用時期
	対象害虫	
	◆ランネート45DF	収穫7日前まで
	ネキアザミマ	
	◆プレオフロアブル	収穫3日前まで
	ハスモンヨウ シロイチモジヨウ ネキアザミマ	
	◆モスピラン顆粒水溶剤	収穫7日前まで
	アザミマ類	
◆ディアナSC	収穫前日まで	
アザミマ類 ハスモンヨウ ネキハモグリハエ シロイチモジヨウ		

病害発生時等	農薬名	使用時期
	対象病害	
	◆カスミンボルドー	収穫14日前まで
	軟腐病	
	◆ホライズンドライフロアブル	収穫3日前まで
	べと病 白色疫病	
	◆バリダシン液剤5	収穫3日前まで
	腐敗病 軟腐病	
	◆ジマンダイセン水和剤	収穫3日前まで
	黒斑病 さび病 灰色かび病 灰色腐敗病 白色疫病 べと病	
	◆シグナムWDG	収穫7日前まで
	小菌核病 白色疫病 灰色かび病 灰色腐敗病 べと病	
◆レーバフロアブル	収穫前日まで	
べと病 白色疫病		
◆スミレックス水和剤	収穫前日まで	
灰色腐敗病 灰色かび病 小菌核病		

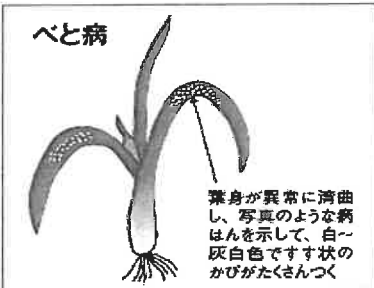
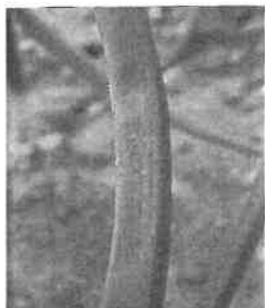
この農薬リストは、令和5年3月1日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。  
農薬メーカーにより登録内容に違いがある場合があるため、農薬を使用する前には、必ずラベルを確認し、記載内容を守って使用してください。



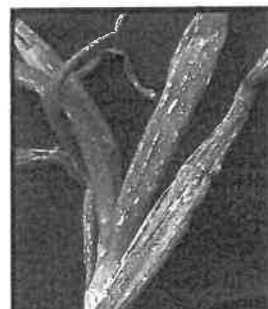
シロイチモジヨウ



タネバエ(幼虫)



畝間除草	農薬名	使用時期
	◆バスタ液剤	収穫前日まで



灰色腐敗病



白色疫病

6. 収支試算例(10a当り)

出荷量	5,000 kg
販売単価	70 円/kg
販売金額	350,000 円

成苗代	60,000 円
生産経費	106,300 円
機械利用料	16,200 円
施設利用料	93,500 円
出荷経費	19,200 円
経費合計	295,200 円

所得	54,800 円
----	----------

※販売金額は、直近3カ年の販売単価にて試算しております。

経費は、現在(R5.5月)の料金体系・価格を元に試算しております。

経費合計には、自前機械の償却費、燃料費、人件費は含んでいません。

7. 【参考例】作業別労働時間(10a当り)

滋賀県農業経営ハンドブック(平成30年(2018年)3月)より

作業名/作物名	タマネギ 露地
苗床準備・は種	2
育苗管理	10
定植準備	3
定植	2
除草剤散布	3

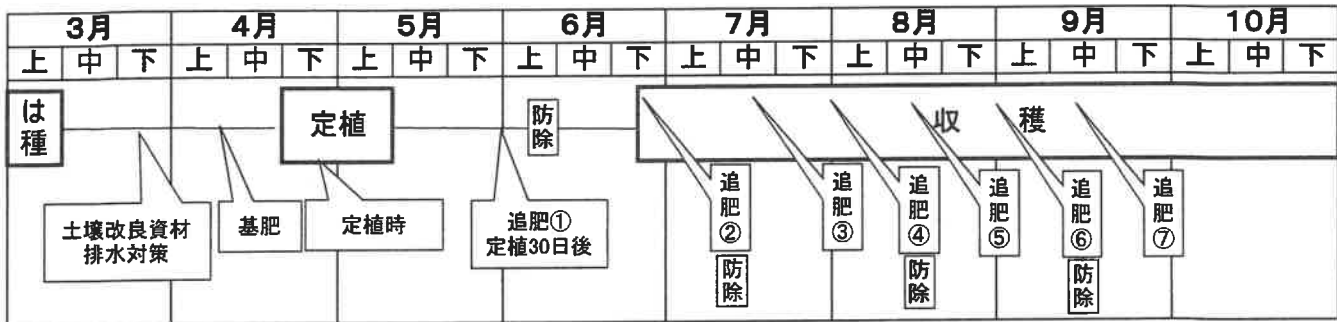
作業名/作物名	タマネギ 露地
追肥・中耕	4
病虫害防除	4
収穫・調製・出荷	24
後始末	1
合計	53

※左記タマネギ露地は、機械化導入での労働時間です。

# 中山間地域向け ピーマン(ナス科)

## 1. ピーマン栽培歴

学校給食等の業販向けのため、大きくなり重量を稼げる品種『ニューエース』(タキイ種苗)を選定。



## 2. 作付品種

品種名: ニューエース (タキイ種苗)

- 特性:
- 極早生で横張りのある中獅子型。
  - 果重は40g程度で果皮にツヤがあり、品質良好。
  - 初期から成り休みが少なく多収。
  - 草姿は開張性で茎が太く、分枝が多い。



## 3. 作業・技術内容

施肥設計(kg/1a)

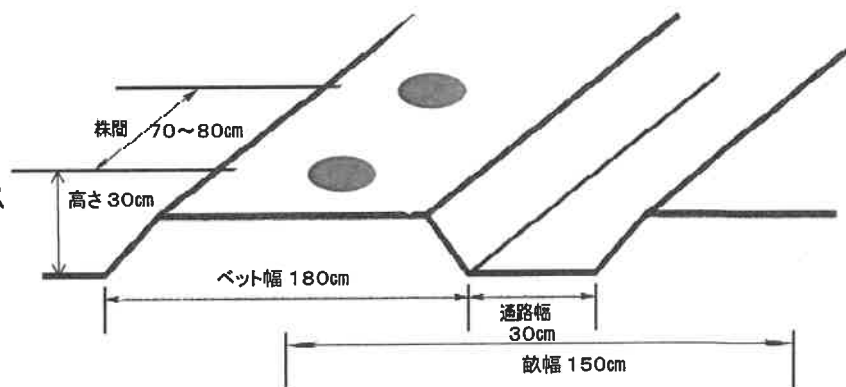
肥料名	N	P	K	総量	基肥	追肥①	追肥②	追肥③	追肥④	追肥⑤	追肥⑥	追肥⑦
完熟堆肥 または 新ふりかけ堆肥エコ	/	/	/	300	300							
粒状炭酸苦土石灰	1.9	2.1	1.0	30	30							
やさい1号	0	0	0	20	20							
	12	10	12	31	10	3	3	3	3	3	3	3

## 圃場選び・土づくり

- ◎ 日当たり、水はけのよい場所を選ぶ。(強い西日にはご注意ください)
- ◎ 根が浅いので、粗(あら)起こしでは堆肥(たいひ)を多めにに入れて深く耕し、根の伸長を促す。
- ◎ 定植1ヶ月前に完熟堆肥または、ふりかけ堆肥エコと粒状炭酸苦土石灰を散布し耕耘する。

## 基肥

- ◎ 定植1週間前~前日までに、圃場1㎡当たりやさい1号を100g散布し、畝立をする。
- ◎ ベット幅は120cm、高さ30cm、畝幅150cmを目処に畝立てをします。
- ◎ 排水溝を設置し、尻水戸まで溝をつなげる。



## 定 植

- ◎畝の中央部に株間70cm～80cmで1条植えにする。
- ◎植え付けが終わったら支柱を立てて、風で株元が揺らがないように誘引する。
- ◎早植えをしたときは、マルチをするかホットキャップなどで保温するとよい。
- ◎定植時の植穴に1～2g/株スタークル粒剤を施用する。
- ◎定植時は苗に十分水を含ませてから定植する。
- ◎土壌水分に応じ定植後に灌水をする。



## 誘引(フラワーネットの活用)

### 【フラワーネットの設置】

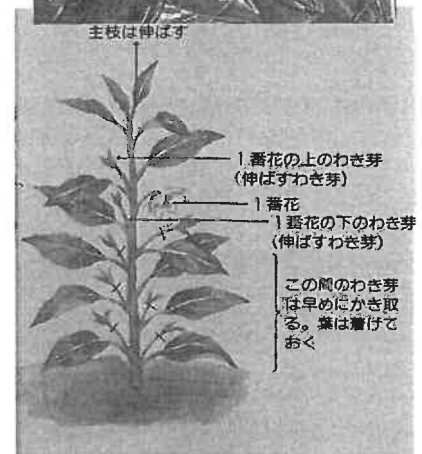
- ◎誘引には、15cm目合×5目もしくは20cm目合×4目のフラワーネットを使用すると便利。
- ◎支柱は、長さ150cm程度のものを1.5～2m間隔で立てる。
- ◎支柱の高さ60cm位の位置にフラワーネットを張る。
- ◎ネットの端は、網目に合わせて切り目を入れた木の棒に通して固定する。
- ◎110cmくらいの位置にも、もう1段フラワーネットを張ると倒伏を防止できる。

フラワーネットの張り方



## 整 枝

- ◎ピーマンは主枝の8～9節に1番花をつけ、以降、各節に花とわき芽をつける性質がある。
- ◎地温が低いうち(16℃以下)は、1番花が落花したり、変形果や石果になることがあるので、1番果は小さいうちに摘み取る。
- ◎1番花のついた上下のわき芽は強く伸びるのでそのまま伸ばす。
- ◎伸ばす脇芽よりも下についたわき芽は早めに摘み取る。
- ◎わき芽が込みすぎたら間引きをして株全体の日当たりをよくする。



## 追肥

- ◎定植後1カ月後、圃場1㎡あたりやさい1号30gを株間に施用する。
- ◎収穫開始期以降、2週間に1回程度圃場1㎡当たりやさい1号を30gを畝肩に施用する。
- ◎鍬の柄などで深さ6～7cmの穴をあけ、肥料を入れて埋め戻します(穴肥)。
- ◎根が細かいので、乾燥・肥料切れに注意する。

## 収 穫

- ◎実の色が葉と同じ色なので見落とさないようにする。
- ◎収穫が遅れると、樹勢が極端に悪くなるため採り遅れない。
- ◎樹勢が弱っているときは若採りをする。



#### 4. 病虫害防除暦(例)

※展着剤(グラミンS)を添加しましょう。

作業名 または時期	用途	農薬名	対象病虫害 対象雑草	希釈倍数等	使用回数
					収穫前日数
定植時	殺虫	スタークル粒剤	アザミウマ類 アブラムシ類	1~2 (g/株) 土壌混和	1回
生育期間中	殺菌	ダコニール1000	斑点病 うどんこ病 黒枯病 炭疽病	1000倍	3回以内 収穫前日まで
	殺虫	ゼンターリ 顆粒水和剤	アオムシ コナガ ヨトウムシ	1000~ 2000倍	使用回数 制限なし 収穫前日まで
	殺虫	アディオオン乳剤	アブラムシ類	2000~ 3000倍	5回以内
	タバコガ カメムシ類		2000倍	前日まで	



アブラムシ



炭疽病



カメムシ

上記農薬リストは、令和5年3月1日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。  
農薬メーカー間により登録内容に違いがある場合があるため、農薬を使用する前には、必ずラベルを確認し、記載内容を守って使用してください。

# リアトリス

※球根の導入にあたり、JA東びわこ花卉部会に加入していただきます。

## 1. 栽培暦

10			11			12			1			2			3			4			5			6			7			8			9					
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
●露地トンネル栽培																																						
球根掘り起し			定植						← トンネル →			追肥						収穫			追肥																	
圃場準備 球根消毒															支柱、 ネット設置																							
●露地栽培																																						
球根掘り起し			定植									追肥 中耕						支柱、 ネット設置			収穫			追肥														
圃場準備 球根消毒																																						

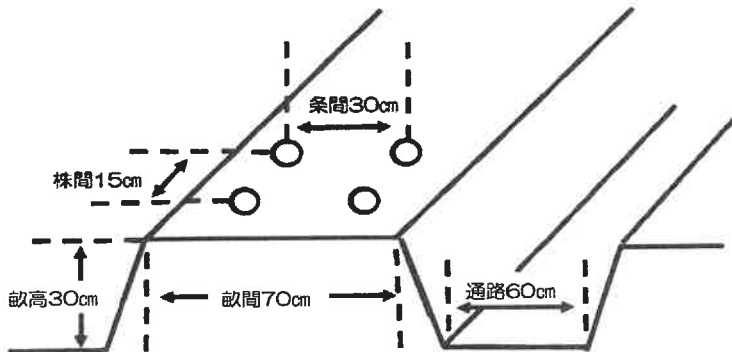
## 2. 栽培のポイント

- 1) 圃場は日当たりが良く、排水の良い圃場を選びましょう。
- 2) 収穫時期が短期間(2週間)に集中しているため、トンネル栽培と露地栽培を合わせて栽培面積は3aが目安です。
- 3) 開花の進行が早いため、収穫時に切り前(収穫適期)を徹底しましょう。
- 4) 通常の出荷規格(90cm~110cm)よりも短い規格(65cm)でも流通できるようになり、切り花を無駄なく出荷できます。

## 3. 作業・技術内容

ほ場の準備: 施肥設計 (kg/1a)

肥料名										(kg)		
	N (%)	P (%)	K (%)	総量	土づくり	基肥	追肥①	追肥②	N	P	K	
完熟堆肥または 新ふりかけ堆肥工コ	1.9	2.1	1.0	200	200				0.2	0.2	0.1	
苦土石灰	-	-	-	10	10				0.0	0.0	0.0	
菜種油粕	5	2	1	5		5			0.3	0.1	0.1	
CDUタマゴ化成S222	12	12	12	7		5		2	0.8	0.8	0.8	
細粒868	8	6	8	3			3		0.2	0.2	0.2	
硫酸加里	-	-	50	1			1		0.0	0.0	0.5	
									1.5	1.3	1.7	



## 圃場準備

- ◎定植1か月～2か月前に、有機堆肥などの有機物を入れ、苦土石灰を施用します。
- ◎土壌pHは、6.0～7.0に調整します。
- ◎定植1週間前に、油粕とCDUタマゴ化成S222を施用し、畝立て作業を行います。
- ◎畝は白絹病や菌核病の発生予防のため高畝とし、排水管理が徹底できるようにしましょう。

## 種株の準備

- ◎種株は、1,000～1,200株(約40kg～70kg)／1aで細菌核・白絹病などに侵された株は除去します。
- ◎1つの株あたり、4～5芽になるように株分けします。芽の少ないものは、1か所に3株ほど定植しましょう。

## 定植

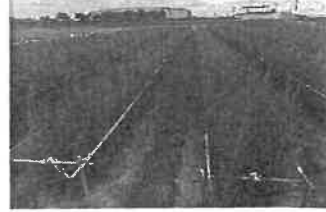
- ◎株間10～15cm・条間30cmの2条植えにします。深植えはせず、覆土を3cm程度かけます。
- ◎連作すると土壤病害が発生しやすいので、2～3年に一度は必ず栽培圃場を変更しましょう。
- ◎露地トンネル栽培の場合、2月中旬頃に追肥を施しトンネル被覆を行います。トンネルは土が湿った状態で行いましょう。  
※気温が高くなってきたらトンネルの上部に穴を開け、トンネル内が30℃以上にならないようにします。
- ◎露地栽培の場合は、草丈が5～10cmくらいの時に追肥と中耕除草を兼ねて行います。
- ◎草丈が20～30cmになった頃に、倒伏防止のためフラワーネット(20cm×3マス)を50cmの高さで張ります。
- ◎5月～6月頃にナメクジやヨトウムシが葉や茎につくため、防除を行います。
- ◎生育期間中に茎が萎れ地際部から黄色した場合は、病害が発生しているため株を引き抜きましょう。



2月: トンネル被覆の様子



5月: フラワーネット設置後の様子



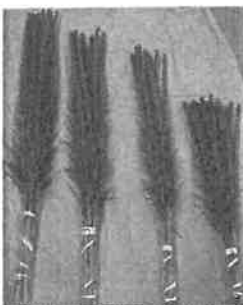
5月: 生育期間中の様子

## 収穫

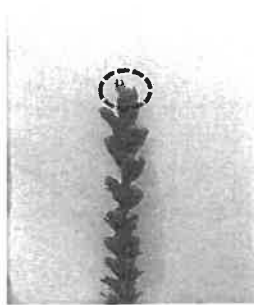
- ◎収穫は気温の高い日中は避け、早朝等に行います。
- ◎収穫後は速やかに水揚げを行い、保冷します。
- ◎頂花が1輪開花した時が切り前で、株養成のため10～20cm茎葉を残して収穫します。
- ◎先端から35cm以上蕾がついているものを収穫します。
- ◎頂花以外の細い芽と下葉を20cm程度かき取ります。  
※短茎(65cm)規格の場合、下葉は10cm程度かき取ります。
- ◎下表の出荷規格に基づいて、10本又は20本に結束します。
- ◎保冷する場合は、蕾や葉が傷まないように新聞紙などで包みましょう。
- ◎生産者番号・規格・入り本数等を記入します。
- ◎ダンボールの下段と花の間には新聞紙を敷き、花を保護します。

### 出荷規格

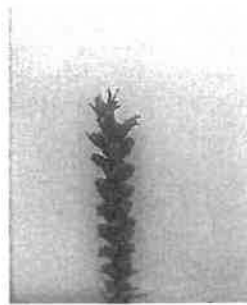
規格	草丈	入本数	結束本数	基準
2L	110cm	100本/箱	10本/束	茎が太く丈夫で屈曲していないもの
L	100cm	100本/箱	10本/束	2Lに準ずるもの
M	90cm	150本/箱	10本/束	2Lに準じ、少しの屈曲まで
短径	65cm	200本/箱	20本/束	Mに準ずるもの



規格(2L、L、M、短茎)



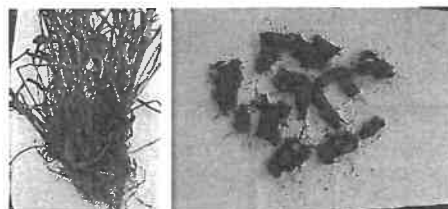
収穫時の切り前姿



出荷時の姿

## 収穫後の管理

- ◎翌年の株を育成するために、7月頃に追肥を施します。
- ◎10月頃に球根を掘り上げ、暗所で乾燥させます。
- ◎球根が大きい場合は、いくつかに分けましょう。  
※球根が傷んでいる場合は、その部分を切り取ります。
- ◎種茎冷蔵保存前に、スミレックス水和剤で種茎の消毒を行います。



掘り起こした球根の姿

株分けした球根

## 4. 病虫害防除暦(例)

時期	用途	農薬	系統	対象病虫害	希釈倍率/使用量	使用回数
4月～6月	殺菌	トップジンM水和剤	ベンズイミダゾール系	菌核病	1,500倍	5回以内
4月～6月	殺虫	アディオソ乳剤	ヒレスロイド系	アブラムシ類	2,000～4,000倍	6回以内
				ヨトウムシ類	2,000倍	
7月～11月	殺菌	リゾレックス水和剤	有機リン系	白絹病	500～1,000倍	5回以内
11月～12月	殺菌	スミレックス水和剤	ジカルボキシミド系	菌核病	1000倍	1回

【参考】その他登録農薬の一例

病虫害発生時等	農薬名
	対象病害
	◆マラソン乳剤
	アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類
	◆アフーム乳剤
	ヨトウムシ類
	◆ナメキール
	ナメクジ

上記農薬リストは、令和5年3月1日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。  
農薬メーカー間により登録内容に違いがある場合があるため、農薬を使用する前には、必ずラベルを確認し、記載内容を守って使用してください。

## 5. 収支試算例(1a当り)

出荷本数	4,000	生産経費	34,000	所得	65,000
販売単価	36	出荷経費	45,000		
販売金額	144,000	経費合計	79,000		

※販売金額は、直近3か年の販売価格にて試算しております。 ※経費は、現在(R5.5月)の料金体系・価格を元に試算しております。  
※経費合計には、人件費・燃料費は含んでおりません。

## 6. 【参考例】作業別労働時間(1a当り)

2017年3月 滋賀県農業技術振興センター農業革新支援部発刊 花き栽培マニュアルより

作業名/作物名	作業時間	作業名/作物名	作業時間
球根準備	4	防除	1
圃場準備	3	収穫・調整・出荷	30
定植	4	追肥②	1
追肥①	1	株掘り上げ	4
トンネル設置、撤去	2	一般作業	4
支柱・フラワーネット設置	2	合計	56

※栽培を希望される方は9月までに営農振興課(TEL0749-28-7851)までご連絡くださいますよう、お願いいたします。



# 短茎小ギク(45cm規格)

※株の導入にあたり、JA東びわこ花卉部会に加入していただきます。

## 1. 栽培暦

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
			挿し芽	定植			収穫				
	トンネル		マルチ張り	摘心		病虫害防除		台刈り			親株切り戻し
	親株摘心		支柱・ネット設置					土寄せ			

## 2. 栽培のポイント

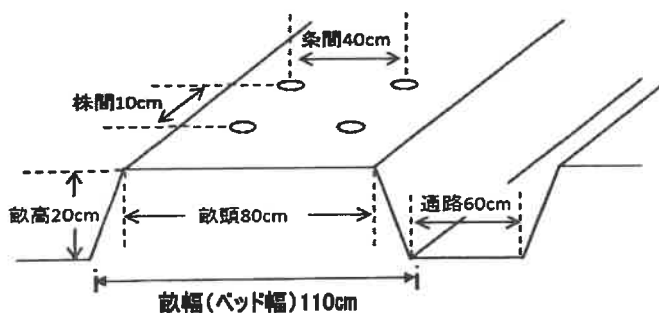
- 1) キクは根が弱く、乾燥や過湿で葉の黄化や立ち枯れを発症します。用水の確保ができ、排水の良いほ場を選びましょう。
- 2) ウイルス病・さび病等にかかっていない株を確保しましょう。
- 3) 短茎栽培はマルチ栽培を行います。
- 4) 短茎の市場出荷は黄色・赤色のみで、45cmで出荷します。

## 3. 作業・技術内容

ほ場の準備: 施肥設計 (kg/10a)

肥料名	N	P	K	総量	基肥	N	P	K
完熟堆肥または 新ふりかけ堆肥エコ	1.9	2.1	1.0	100	1000	1.9	2.1	1.0
粒状炭酸苦土石灰	0	0	0	100	100	0	0	0
CDUタマゴ化成S222	12	12	12	100	100	12	12	12
	13.9	14.1	13.0					

- ◎定植半月～1週間前に完熟堆肥、苦土石灰を入れ畝を立て、CDUタマゴ化成222を入れ、表面を管理機で混ぜます。  
◎畝幅は110cm、畝頭80cm、高さ20cmを目処に畝立てをしましょう。



## マルチ張り・ネット張り

- ◎マルチは降雨後に張るようにします。
- ◎フラワーネットはマルチを張ったあとに設置するか、草丈が15～20cmになった頃に張ります。  
※フラワーネットは、20cm角3マスものを用いましょう。
- ◎畝の両側に丈夫な杭を打ち、支柱を3m間隔で立てます。  
※ネットを張るときは、緩まないようにきつく張るようにしましょう。

## 育 苗

- ◎挿し穂は定植予定10aあたり14,000本程度確保します。
- ◎2月上旬～中旬に摘心を行い、新芽を出してそろった若い穂を親株から6～8cmの長さで折り取り、挿し穂とします。
- ◎セルトレイを使用する場合は、128～200穴程度のものを用意し、用土は育苗培土を用います(タキイ育苗培土等)
- ◎挿し床に十分灌水を行います。
- ◎挿し穂は、展開葉2枚くらいに整理します。
- ◎整理ができた挿し穂は、オキシベロン液剤に浸漬処理し、2cmくらいの深さに挿します。
- ◎水やりの代わりに、殺菌剤(オーソサイド水和剤80等)を散布します。
- ◎挿し芽後はトンネル内で密閉して湿度を保持し、過度な高温や低温とならないようにしましょう。
- ◎セルトレイを使用する場合は水稻育苗箱でトレイを受け、垂木などを下に置くなどして、地床に直接置かないようにしましょう。
- ◎ビニールから高い位置に寒冷紗を張り、遮光します。このとき暗くなりすぎないように注意しましょう。
- ◎約10日で発根します。(気温が低いと発根まで日数がかかる場合もあります。)
- ◎全体の発根を確認したら、外気に慣らした後遮光を取り、2～3日光線にあてます。乾いたら灌水を行います。
- ※春先の高温により、ハウス内・密閉挿しのトンネル内が高温になり、苗が溶ける場合があります。高温が続く場合は、トンネルの裾を開け換気するなどの対策を取りましょう。
- ※密閉挿しの代わりに、タイバックを被覆したり、ミスト繁殖で苗づくりを行う技術があります。詳しくはJA又は普及所までお問い合わせください。



整理した挿し穂(約5cm)

## 定 植

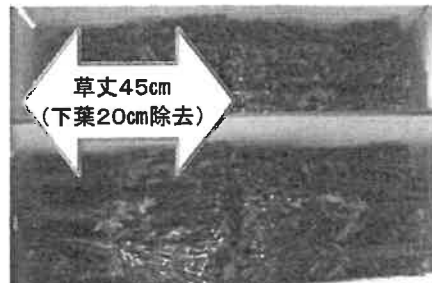
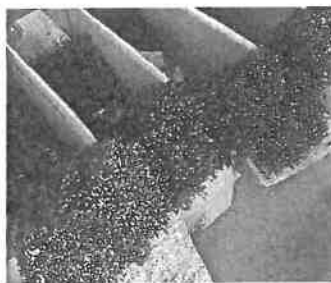
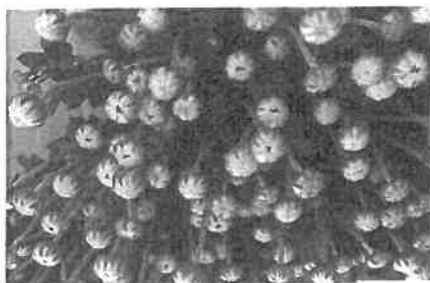
- ◎風のない曇天を選んで定植します。定植前に葉を5葉になるように摘心します。(摘心作業は定植の1週間後でも良いです)
- ◎条間40cm・株間10cmの2条植えになるよう定植します。
- ◎定植時にスタークル粒剤・オンコル粒剤5などを株元に散布してください。
- ◎定植後はたっぷり灌水します。
- ◎生育に合わせてフラワーネットの位置を上げます。  
※フラワーネットは、上から1/3程度の位置になるようにします。
- ◎収穫が終わるまで7～10日おきに、病害虫発生の予防のため薬剤防除を徹底しましょう。
- ※高温時の薬剤防除は葉害が発生しやすいので、夕方に散布しましょう。



植付け作業後の様子

## 収 穫

- ◎切り前(収穫時期)を厳守し、採花します。
- ◎収穫は気温の高い日中は避け、早朝に行います。
- ◎葉が濡れている場合には、葉をしっかりと乾かします。
- ◎収穫後は速やかに水揚げを行い、早めに調製に入りましょう。草丈を45cmに揃え、下から20cm程下葉をかきとります。
- ◎花の天、茎の基部をしっかりと揃え一束25本に束ね、箱詰めを行います。
- ◎1段に4束並べ、3段に箱詰めします。(計300本)
- ◎生産者番号・品種・規格・入り本数等を記入します。
- ◎花の間には新聞紙を敷き、花を保護します。



※切り前(例)

## 親株の準備

- ◎親株数は、定植予定1aあたりに150株程度確保します。
- ◎定植の2ヶ月ほど前に、地上部10cm程度に刈り込みます。
- ◎無病の親株を確保し、ジマンダイセン水和剤・ジェイエース水溶剤などで防除しておきます。
- ◎親株を12月頃ハウス等に入れ保温して、ハウス内で親株床にトンネルをします。(二重被覆)
- ※ハウスがない場合は、親株床にトンネル被覆を行います。

#### 4. 病虫害防除暦(例)

※展着剤(グラミンS)を必ず添加してください。  
ただし、アミスター20フロアブルには添加しないでください(薬害)。

時期	用途	農薬	対象病虫害	希釈倍率/使用量	使用回数	
定植時	殺虫	スタークル粒剤	アブラムシ類	1g/株 (1aあたり30kgまで)	1回	
			マメハモグリバエ	2g/株 (1aあたり30kgまで)		
5月	下旬	殺菌	ジマンダイセン水和剤	さび病・灰色かび病・黒星病	400～600倍	8回以内
6月	上旬	殺菌	ジマンダイセン水和剤	さび病・灰色かび病・黒星病	400～600倍	8回以内
		殺虫	ダントツ水溶剤	ハモグリバエ類・アザミウマ類・カメムシ類	2000～4000倍	4回以内
			アブラムシ類	4000倍		
	中旬	殺菌	ダコニール1000	褐斑病・黒斑病・白さび病	1000倍	6回以内
		殺虫	ジェイエース水溶剤	アブラムシ類・アザミウマ類	1000～1500倍	5回以内
			マメハモグリバエ	1000倍		
	下旬	殺菌	ジマンダイセン水和剤	褐斑病・黒斑病・白さび病	400～600倍	5回以内
		殺虫	トレボン乳剤	アブラムシ類	2000倍	6回以内
7月	上旬	殺菌	トリフミン乳剤	白さび病	1000倍	5回以内
		殺虫	ピラニカEW(劇物)	ハダニ類	1000～2000倍	1回
			アブラムシ類	1000倍		
	中旬	殺菌	アミスター20フロアブル	白さび病	2000倍	5回以内
		殺虫	ダントツ水溶剤	ハモグリバエ類・アザミウマ類・カメムシ類	2000～4000倍	4回以内
			アブラムシ類	4000倍		
	下旬	殺菌	トリフミン乳剤	白さび病	1000倍	5回以内
		殺虫	アフーム乳剤	アザミウマ類	1000～2000倍	5回以内
殺虫		オオタバコガ・ハモグリバエ類 ヨトウムシ類		1000倍		

※ 上記表の同時期に散布する殺虫剤・殺菌剤は混用可能です。しかし他の農薬と組み合わせて混用する際には、組み合わせ次第で薬害等が起こる可能性がありますので、必ず混用が可能かを確認してください。



【参考】その他登録農薬の一例

病害虫発生時等	農薬名
	対象病害
	◆スピノエース顆粒水和剤
	アザミウマ類・ハモグリバエ類・オオタバコガ
	◆コテツフロアブル(劇物)
	アワダチソウゲンバイ・ミカンキイロアザミウマ・ハダニ類 ミナミキイロアザミウマ・オオタバコガ・ヨトウムシ類
	◆アディオン乳剤
	アブラムシ類・カメムシ類・ハマキムシ類・ヨトウムシ類
	◆オリオン水和剤40
	アブラムシ類・ハスモンヨトウ・オオタバコガ
	◆ダニトロンフロアブル
	ハダニ類
	◆サンヨール
	うどんこ病・灰色かび病・白さび病・褐斑病・黒斑病 アブラムシ類・ハダニ類
◆ポリオキシシナル水溶剤「科研」	
白さび病・灰色かび病・黒斑病	
◆ハチハチ乳剤(劇物)	
白さび病・アザミウマ類・アブラムシ類・ハモグリバエ類	



白さび病



アブラムシ類



黒さび病

上記農薬リストは、令和3年3月8日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。  
農薬メーカー間により登録内容に違いがある場合があるため、農薬を使用する前には、必ずラベルを確認し、記載内容を守って使用してください。

## 5. 収支試算例(10a当り)

出荷本数	50,000本	苗代	140,000円	所得	547,000円
販売単価	20円	生産経費	102,000円		
販売金額	1,000,000円	出荷経費	211,000円		
		経費合計	453,000円		

※苗代についてはJA東びわこ花卉部会入部の場合の価格です。

※販売金額は、直近3か年の販売価格にて試算しております。

※経費は、現在(R5.5月)の料金体系・価格を元に試算しております。

※経費合計には、人件費・燃料費は含んでおりません。

## 6. 【参考例】作業別労働時間(10a当り)

2017年3月 滋賀県農業技術振興センター農業革新支援部発刊 花き栽培マニュアルより

作業名/作物名	小ギク マルチ栽培
親株管理	47
挿し芽・育苗	77
定植準備	67
摘心・定植	53
ネット上げ	17
病虫害防除	40
収穫・出荷	807
後始末	17
合計	1,125

※栽培を希望される方は9月までに営農振興課(Tel.0749-28-7851)までご連絡くださいますよう、お願いいたします。

# ユーカリ





## 1. 栽培暦

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
【育苗】												
									播種	鉢上げ	→	
【1年目】												
	育苗	→	元肥	定植	防除	摘心	追肥		防除	収穫	→	
【2年目以降】												
	→	収穫	選定	追肥		防除	追肥	防除		防除	収穫	→

## 2. 栽培のポイント

- 1) プライダルやアレンジから普段使いまで用途が広く安定した需要が見込めます。
- 2) 湿潤で排水性と日当たりの良い圃場が適します。生育が早く、2年目に収穫・出荷が可能となります。
- 3) 耐寒性がありますが、積雪や凍結する地域では、枯死する株が見受けられます。
- 4) 畑作物の栽培が困難な圃場や獣害を受けている地域において農地の有効活用が図れます。
- 5) 自家採取はできず、輸入種子を購入して苗を作ります。挿し木等の活着率は低く実用的ではありません。

## 3. 品種と特徴

品種名		特徴
グニー		厚葉の小丸葉で分枝しやすい品種です。生育は極めて旺盛で、新梢は2m程度伸長し、1mの枝物を中心に収穫できます。凍雪には弱い ため、中山間地や積雪地域では葉傷みなどが発生することがあります。
パルブラ		三角上の尖った小さな葉で、分枝しやすい品種です。新梢は1.5m程度伸長し、1mの枝物を中心に収穫できます。土壌の適応性が高く、耐寒性に優れています。個体ごとの葉の形状差が大きく、定植前の選別が重要になります。
ブリッジシアナ		葉の形状から『アップルユーカリ』とも呼ばれます。生育は極めて旺盛で、新梢は3m程度伸長します。1mの枝物、60cm程度のシングルなど収穫できます。定植1年目の幼木では、中山間地域において積雪や氷点下に遭うと凍害が発生することがあります。
ポリアンセモス		大きな丸葉が特徴で葉の形状差も少ない品種です。『ポポラス』とも呼ばれます。新梢は1.5m程度伸長し、60cm～1mの枝物を中心に収穫できます。過乾燥や斑点症などで葉が傷む場合があります。凍雪には弱い ため、中山間地域での積雪や氷点下では凍害が発生することがあります。

## 4. 栽培管理

### 播種・育苗

- 育苗はビニールハウス等の施設で行います。
- 発芽適温は20℃程度です。
- 育苗培土を用いて育苗トレイに条播き、もしくは128穴・200穴のセルトレイに1粒播きをします。
- 播種後はパーミキュライトなどで種子が隠れる程度の覆土を行い、用土を乾かさないように管理します。
- 発芽後は、昼間25℃程度になるように換気を行います。

写真1 ユーカリ種子の大きさ

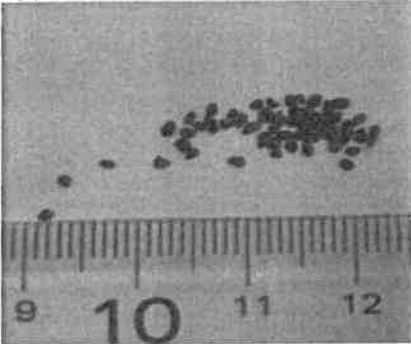


写真2 育苗トレイへの播種(条播きの様子)



写真3 セルトレイへの播種



### 鉢上げ

- 播種から約1か月後には本葉1対程度に成長するので、できるだけ早く10.5～12cmのポリポットに鉢上げをします。
- 育苗用土は肥沃で肥料分が含まれているものを使用し、初期生育を確保します。
- 鉢上げ後は土が乾かない程度に冠水し管理します。
- 厳寒期はハウス内での育苗やトンネル被覆を行います。

写真4 鉢上げ後の様子

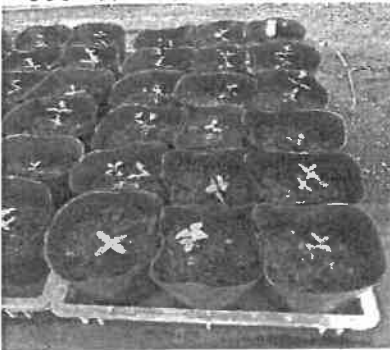


写真5 育苗中の様子



### 定植

#### ① 定植準備

- 定植予定地は、肥沃で水はけの良い圃場を選定します。
- 排水の悪い圃場では30cm程度の高畝栽培を基本とします。
- 元肥には緩効性肥料を1株当たり窒素成分で3g程度を植穴に土壤混和して、肥料成分が根に直接触れないようにします。
- ※ 速効性肥料を施用すると根が傷み、枯死する恐れがあります。
- 雑草防除のための防草シートの敷設も有効です。

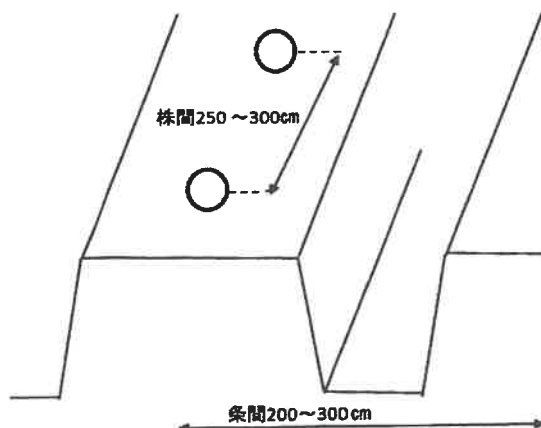


写真6 ユーカリ圃場の様子



## ② 定植

- 品種特性に合わせて植栽密度を調整します。(表1参照)
- 茎葉の形質に個体差が出ることもあるため、異なる個体は植えないようにします。
- 定植直後はたっぷりと冠水します。
- 品種によって葉の形状が似ているものがあるため、品種ラベルを付けます。

表1 品種ごとの植栽密度

品種	条間×株間 (cm)	本数/a
グニー	200×250	20
パルブラ		
ブリッジシアナ	300×300	10
ポリアンセモス		

写真7 定植作業の様子



## ③ かん水

- 定植後は根が活着するまでは適宜かん水を行い、株の周りを乾燥させないようにします。
- 活着後も土が乾いてきたらたっぷりかん水します。特に定植1年目の梅雨明け以降に日照りが続くと水不足になり枯死株が発生します。

## ④ 摘心

- 草丈が50cm以上になったら30~40cm程度で摘心し、側枝を伸ばします。
- 生育が遅い株は翌春に摘心を行います。

## ⑤ 支柱

- 根が浅く強風で倒れることがあるため、直径25mm以上×長さ80cm以上の直管パイプ等に幹を固定します。(写真8参照)
- 支柱は強風で倒れないように土中30cm以上挿し、くくり幅が調整できるハウスバンド等で固定します。針金を用いたりくくり直しを怠ると幹に食い込むことがあります。
- 台風等の強風で倒伏した場合は速やかに株を起し支柱で補強します。
- 折れた枝は切り戻して、切り口に殺菌剤(トップジンMペーストなど)を塗布します。

写真8 支柱を設置した様子



## ⑥ 整枝

### 1年目の管理

- 次年度に向けて側枝を4本程度残します。(図1の①を参照)
- 残した枝は50cm程度で切り戻しをして越冬させます。

### 2年目以降の管理

- 光合成のための『同化枝』として、葉のついた枝を3から4本残して剪定します。(図1の②を参照)
- 剪定は枯れこみ防止のため基部を30cm程度残します。
- 葉がなくなると株が弱るため、必ず同化枝を確保しましょう。
- 側枝が弱った場合は新たな新芽の萌芽を待ち、剪定します。
- 放任すると高木となり収穫が困難になります。

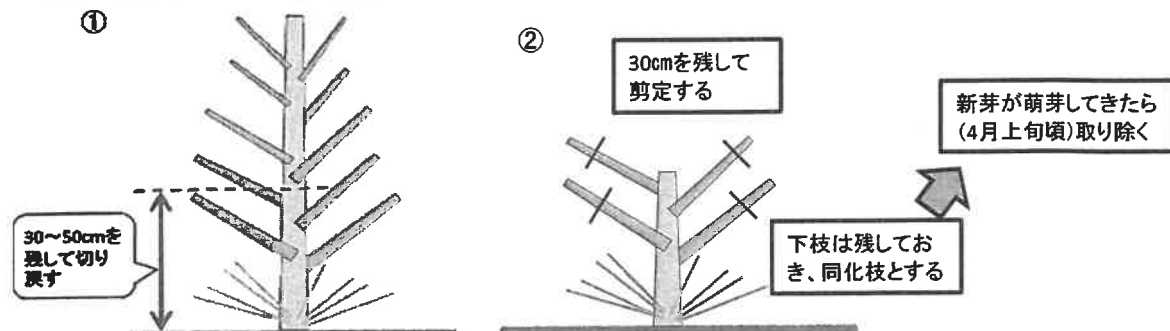


図1 剪定方法

## 追肥

- 追肥は、緩効性肥料を収穫後の3月下旬と7月に施用します。
- 年間の窒素分量は1株当たり約20gを目安としますが、樹勢や土壌条件などにより増減します。(表2参照)
- 9月以降に施肥を行うと茎葉の伸長が続き、葉の硬化が遅れ、収穫時期の遅延や萎れによる品質低下を招く場合があります。

表2 施肥例(200株/10aの場合)

肥料名	N-P-K 成分(%)	時期	10a当たり		1a当たり	
			施用量(kg)	施用量(kg・N)	施用量(g)	施用量(g・N)
1B化成S1号	10-10-10	3月	20	2	100	10
		7月	20	2	100	10
合計			40	4	200	20

## 除草

- 雑草が繁茂すると害虫の発生源となったり、樹勢が低下し側枝の伸長が抑えられ収穫本数が少なくなることがあります。特に、生育初期は株元の除草を定期的に行いましょう。

## 5. 病虫害防除暦(例)

- ケムシ類、シャクトリムシ類、コガネムシ類が寄生して葉を食害します。
- 食害痕を見つけたら原因となる害虫を確認し、捕殺または薬剤防除を行います。(薬剤散布の際は展着剤を使用します)
- 排水性の悪い圃場では、9月以降に斑点性の病害が発生することがあります。10月末までは20日～1か月間隔で殺菌剤散布を行います。
- 農薬は、ユーカリで登録されたものがないため、『樹木類』に登録のあるものを使用します。

※展着剤(グラミンS)を必ず添加してください。

表3 ユーカリに用いる農薬の例 ※樹木類で登録のある農薬

【令和5年5月15日現在】

農薬名	対象病虫害	系統	RACコード	希釈倍率	使用回数
アデオン乳剤	ケムシ類	ピレスロイド	3A	4,000～8,000倍	6回以内
	シャクトリムシ類				
トレボン乳剤	ケムシ類	3A	4,000倍	6回以内	
	シャクトリムシ類				
スピノエース顆粒水和剤	ケムシ類	スピノシン	5	5,000倍	2回以内
ロムダンフロアブル	ケムシ類	ジアシルヒドラジン	18	2,000～3,000倍	5回以内
エスマルクDF	シャクトリムシ類	BT剤	11A	2,000倍	-
パダンSG水溶剤	シャクトリムシ類	ネライストキシン類緑体	14	1,000～1,500倍	3回以内
スミチオン乳剤	アブラムシ類	有機リン	1B	1,000倍	6回以内
トップジンM水溶剤	炭疽病	ベンズイミダゾール	1	1,000～2,000倍	5回以内
	輪紋葉枯病			1,000倍	
	斑点症(シュードサーコスポラ菌)				
ベンレート水和剤	炭疽病	1	2,000倍	-	
	輪紋葉枯病				
アンビルフロアブル	炭疽病	EBI	3	1,000倍	7回以内
Zボルドー	斑点症(シュードサーコスポラ菌)	銅水和剤	M1	800倍	-
	輪紋葉枯病			500倍	
ペンコゼブ水和剤	炭疽病	有機硫黄	M3	600倍	4回以内
	斑点症(シュードサーコスポラ菌)				
	枝枯細菌病				
ベルコート水和剤	炭疽病	グアニジン	M7	1,000倍	3回以内

RACコードとは

殺虫剤、殺菌剤、除草剤について分類コードがあり、作用点や作用機構から農薬の有効成分を分類したものです。病虫害の薬剤抵抗性は同系統の薬剤の連用が原因と考えられており、ローテーションをすることには異なったRACコードの薬剤を使用しましょう。



## 6.収穫・出荷調整

### (1) 収穫

- 茎葉の伸長が止まり、最高気温が20℃を下回って先端の葉が硬化してきた頃が収穫適期で、10月下旬～3月上旬に収穫できます。
- 水桶を圃場に用意して、収穫後すぐに水揚げを行えるようにします。
- 水揚げは24時間以上、水の減る量が少なくなるまで行います。
- 深切りによる枯れこみを防ぐため必要以上に長く切らないようにします。
- 地域・品種によっては厳寒期の凍雪により葉が傷む場合があるため、早めに収穫します。
- パルブラは10～11月、3月の出荷が可能ですが、ポリアンセモスは葉が傷みやすいため年内中での出荷をしましょう。

### (2) 調整・結束

- 枝物とシングル(1本物)が混合しないように分けて結束します。(写真9及び10参照)
- 規格を揃え、切枝長に応じて5～10本を1束とします。(写真11及び12参照)
- 市場出荷では、枝物で長さのあるものが好まれるため、可能な限り長く調整しましょう。
- 脱葉は切り枝の裾から手で握れるだけの10cm程度が基本ですが、出荷先の市場に確認する必要があります。
- 結束したら出荷まで再度水揚げを行います。
- 結束したユーカリを新聞紙で包むと、1箱中に多く入り、葉が損傷する恐れも少なくなります。

写真9 枝物の様子(写真には1本)

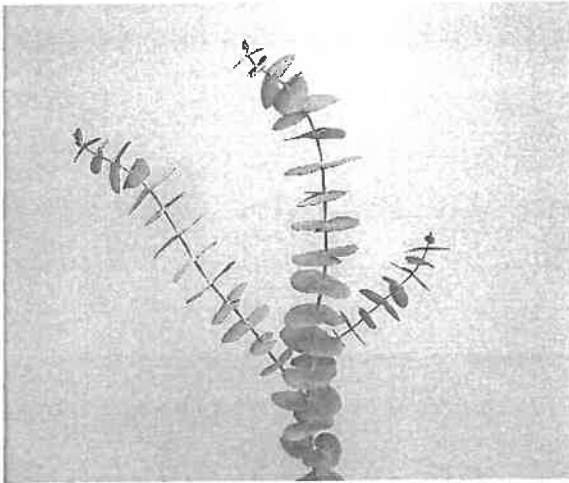


写真10 シングルの様子(写真には2本)

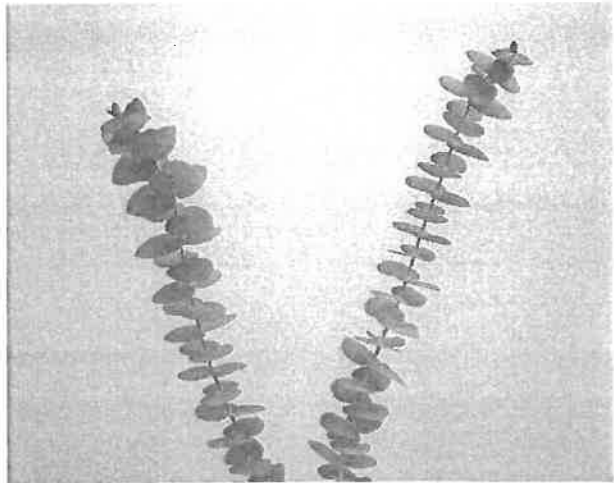


写真11 出荷時の様子(パルブラ1束)



写真12 出荷時の様子(ポリアンセモス1束)



### (3) 出荷準備

- 出荷前には水揚げ時の余分な水分を切り、品種と規格を統一して箱詰めします。
- 枝物とシングル(1本物)と混合しない、品種を混合しないなどの基本事項がありますが、出荷先の市場と調整して指示どおりの記載をしましょう。
- ダンボールの底と上部にはそれぞれ新聞紙を引き、葉の擦れによる損傷を予防します。
- 枝物の新葉は枯れや汚れがある場合でも、取り除かずに出荷を行います。

表3 出荷規格の例

規格	規格	
	枝物	シングル
80cm	50~100本	100本
70cm	50~100本	100本
60cm	100本	100~150本
50cm	100本	100~150本
40cm	100~150本	150~200本

写真13 ダンボールへの梱包の様子



## 7. 収支試算例(10a当り)※植栽5年目の売上目標

#### 【1年目に必要な経費】

育苗経費	20,320円
肥料経費	9,000円
薬剤費	5,000円
資材費	2,000円
合計	36,320円

#### 【2年目以降に必要な経費】

肥料経費	9,000円
薬剤費	8,000円
資材費	10,000円
出荷経費	55,200円
合計	82,200円 <sup>②</sup>

#### 【植栽5年目の売上目標】

出荷本数	10,000本
販売単価	50円
販売金額	500,000円 <sup>①</sup>

※ 200樹/10aを植栽する品種。  
 ※ 5年目で51本/樹を収穫。

5年目の所得	417,800 <sup>①-②</sup>
--------	------------------------

## 8. 【参考例】作業別労働時間(10a当り)

2022年3月 滋賀県農業技術振興センター農業革新支援部発刊 ユーカリ栽培の手引きより

作業内容	作業時間
播種	2
ポット上げ	4
圃場準備	12
元肥散布	6
定植	6
追肥	5
防除	4
整枝	15
一般管理	20
合計	74

作業内容	作業時間
追肥	12
整枝	20
防除	10
収穫・出荷調整	80
出荷	20
一般管理	12
合計	154

# 農薬希釈等早見表

希釈倍率 (倍)	水10% 当たり 薬量 g (ml)	水18% 当たり 薬量 g (ml)	薬剤1袋(1瓶)のできる液量(%)				
			100	200	250	300	500
			g (ml)	g (ml)	g (ml)	g (ml)	g (ml)
8	1,250	2,250	0.8	1.6	2	2.4	4
20	500	900	2	4	5	6	10
30	333.3	600	3	6	7.5	9	15
50	200	360	5	10	12.5	15	25
100	100	180	10	20	25	30	50
150	66.7	120	15	30	37.5	45	75
200	50	90	20	40	50	60	100
250	40	72	25	50	62.5	75	125
300	33.3	60	30	60	75	90	150
350	28.6	51.4	35	70	87.5	105	175
400	25	45	40	80	100	120	200
450	22.2	40	45	90	112.5	135	225
500	20	36	50	100	125	150	250
550	18.2	32.7	55	110	137.5	165	275
600	16.7	30	60	120	150	180	300
650	15.4	27.7	65	130	162.5	195	325
700	14.3	25.7	70	140	175	210	350
750	13.3	24	75	150	187.5	225	375
800	12.5	22.5	80	160	200	240	400
900	11	20	90	180	225	270	450
1,000	10	18	100	200	250	300	500
1,200	8.3	15	120	240	300	360	600
1,500	6.6	12	150	300	375	450	750
2,000	5	9	200	400	500	600	1,000
2,500	4	7.2	250	500	625	750	1,250
3,000	3.3	6.0	300	600	750	900	1,500
4,000	2.5	4.5	400	800	1,000	1,200	2,000
5,000	2	3.6	500	1,000	1,250	1,500	2,500
10,000	1	1.8	1,000	2,000	2,500	3,000	5,000

## RACコードについて

病原菌や害虫の農薬に対する耐性や抵抗性を発達させにくくするためには、違う系統の薬剤をローテーションして使用することが効果的です。農薬の系統を調べるのにRACコードがあります。

- 1 RACコードとは、世界的な農薬製造会社の国際団体が定めたもので、作用点や作用機構から有効成分を分類したコードです。
- 2 RACコードは防除効果とは直接関係がありません。
- 3 RACコードは、殺虫剤は【IRAC】、殺菌剤では【FRAC】、除草剤は【HRAC】に分類されます。

薬剤	RACコード	
殺虫剤	IRAC	UN：作用機構が不明あるいは不明確
殺菌剤	FRAC	M：多作用点接触活性
除草剤	HRAC	:

※ Mの付いた殺菌剤は一般的に耐性菌の発生リスクが低いとされています

- 4 農薬に対する耐性・抵抗性の発生を防ぐためには、RACコードの活用が有効です。  
有効成分が異なっている場合でもRACコードが同じであれば同一系統の薬剤となるため、連用を避けましょう。

(使用例)

薬剤名	有効成分	RACコード
〇〇水和剤	▲▲▲	1 B
△△水和剤	□□□	3 A
□□水和剤	×××	4 A

→ RACコードが異なる剤により、ローテーション防除が実施できる

薬剤名	有効成分	RACコード
□□水和剤	×××	4 A
◇◇水和剤	▽▽▽	4 A

→ RACコードが同じであれば、同一系統の薬剤となるため、連用は避ける。

※ 今年度の農薬申込書欄より、RACコードを明記しておりますので、使用される農薬の連用防止確認にご活用ください。

RACコードは日本農薬工業会のHPに掲載され、各営農経済センターでも調べることができますので、お問い合わせください。

# 農業用使用済みプラスチック類・不要農薬は 適正に処理しましょう！！

**農業用使用済みプラスチック類(ハウスビニール・あぜ波・育苗箱・肥料袋・空容器)並びに不要農薬の回収を実施しております。**

農業用使用済みプラスチック類(以下廃プラ)については農業用産業廃棄物に該当し、個人による責任をもった処理が義務づけられています。また、農薬においても、農薬取締法の改正により使用方法の適正な遵守はもちろんの事ながら、使用期限を過ぎた農薬の適正な処理が求められています。

当管内では適正な処理を行っていただくために、JA東びわこ地区農業用使用済みプラスチック適正処理推進協議会にて年2回(夏・冬)の回収作業を実施しております。環境に配慮した農業実践のために廃プラ・不要農薬がございましたらこの機会にご利用ください。

なお、処理につきましては有料となりますが、処理実費費用のみの請求となっております。



## 回収場所までの運搬について…

廃プラ・不要農薬につきましては産業廃棄物に位置づけられています。このため収集場所等へ運搬する車両への「産業廃棄物運搬車」表示が義務づけられています。申込後『産業廃棄物運搬車』の表示証をお渡しますので、搬入される方は必ず車に掲示し回収場所に搬入してください。

## 搬入について…

- ・回収作業実施前に回収日時をご案内しますので、都合の良い日を選び、指定された回収場所まで各自で搬入をお願いいたします。
- ・搬入時には必ず『産業廃棄物運搬車表示証』の掲示をお願いいたします。
- ・回収作業はスムーズに行えるように仕分け、排出物の結束等のご協力をお願いいたします。

## よくある質問

- |    |  |
|----|--|
| Q. | 今は農業をやめましたが、肥料や農薬が残っています。                          |
| A. | 肥料・農薬ともに不要農薬という扱いで処理できます。                          |
| Q. | スプレー缶タイプの殺虫剤は排出できますか？                              |
| A. | 処理できません。中身を使い切って空にして、穴を開け一般ごみ区分の「缶・金属」として排出してください。 |

# 令和5年播き『キャベツ・ブロッコリー・タマネギ』苗の申込について

- ※ 苗の引き渡し予定日は目安です。
- ※ キャベツ・ブロッコリーは、128穴/枚のトレイを使用いたします。
- ※ キャベツ・ブロッコリーについては業者にては委託しますので、期日厳守で申込をしてください。また、申込期日を過ぎてからの追加注文等については対応できません。
- ※ タマネギは、専用移植機用448穴/枚のトレイを使用いたします。
- ※ トレイ苗につきましては、種子の発芽率が約90%となっておりますので、欠株が生じる可能性があります。多くの欠株があるトレイにつきましては苗の差し替えで対応いたしますが、128穴では10穴まで、448穴では40穴までの欠株はご容赦願います。
- ※ 各申込苗の価格については予定価格ですので、価格を変更する場合があります。
- ※ 10a当たり必要枚数は目安で、上下の枕地に植えつけられない場合があります。
- ※ 誠に勝手ながらお申込み枚数は、基本10枚以上から承ります。
- ※ は種苗をお申込みの方は事前にご連絡いたしますので、指定日時・場所にてお引き取り願います。
- ※ 植付苗は、引き渡しの概ね10日前にご連絡いたします。
- ※ 提出期限は、それぞれの品目別申込書に記載の期日を厳守してください。また代金の精算は、当JA開設口座からの振替に限りま。
- ※ 作付面積により、収穫時期が重なる恐れがあります。計画的な作付けを行いましよう。
- ※ セルトレイは、洗浄後に各営農経済センターへご返却ください。
- ※ キャベツ、ブロッコリーは7月7日以降から、タマネギは8月14日以降からキャンセル料が発生します。
- ※ 申込書の連絡先電話番号は、日中にご連絡の取れる番号をご記入願います。

作物名	熟期	10a当り必要 箱数	収穫時期	品種名	品種特性
キャベツ	中生	25～30	12月中旬～	藍宝ひかり	耐寒性があり、産地適応性が広い栽培しやすい品種です。
	晩生		1月中旬～	冬武将	特に優れた耐寒性を持ち、生育旺盛な1月～3月どりの寒玉系品種。
ブロッコリー	中早生	25～30	11月中旬～	おはよう	低温時のアントシアン発生がなく、茎の空洞症の少ない中早生種
	晩生		1月上旬～	こんばんは	草姿は立性で草勢はやや強く、低温伸長性があり、一般地で1～2月どりに適する。
タマネギ	晩生	40～45	6月上旬～	もみじ3号	長期吊り貯蔵および冷蔵貯蔵用に適した品種です。

(申込者控え)

### 令和5年播き 秋冬キヤベツ苗 申込書

引渡予定日 苗の種類	7月14日頃 (藍宝ひかり)	8月10日頃 (藍宝ひかり)	8月17日頃 (藍宝ひかり)	8月25日頃 (冬武将)	9月1日頃 (冬武将)
	予定価格 1,000円/枚 (税込)	予定価格 1,600円/枚 (税込)			
は種苗					
植付苗 育苗期害虫防除 農薬散布苗					

☆予定価格ですので変更する場合があります。

キリトリ線

(JA提出用)

### 令和5年播き 秋冬キヤベツ苗 申込書

引渡予定日 苗の種類	7月14日頃 (藍宝ひかり)	8月10日頃 (藍宝ひかり)	8月17日頃 (藍宝ひかり)	8月25日頃 (冬武将)	9月1日頃 (冬武将)
	予定価格 1,000円/枚 (税込)	予定価格 1,600円/枚 (税込)			
は種苗					
植付苗 育苗期害虫防除 農薬散布苗					

☆予定価格ですので変更する場合があります。

申込者氏名

連絡先電話番号

申込期日 令和5年7月3日(月)厳守

※誠に勝手ながらお申込み枚数は、基本10枚以上からお願いたします。

(申込者控え)

# 令和5年播き 秋冬ブロッコリー苗 申込書

引渡予定日 苗の種類	7月21日頃 おはよう	8月3日頃 おはよう	8月17日頃 こんばんは	8月17日頃 おはよう	9月1日頃 おはよう	9月9日頃 こんばんは
	予定価格 1,000円/枚 (税込)					
は種苗						
植付苗 育苗期害虫防除 農薬散布苗						

☆予定価格ですの変更する場合があります。

キリトリ線

(JA提出用)

# 令和5年播き 秋冬ブロッコリー苗 申込書

引渡予定日 苗の種類	7月21日頃 おはよう	8月3日頃 おはよう	8月17日頃 こんばんは	8月17日頃 おはよう	9月1日頃 おはよう	9月9日頃 こんばんは
	予定価格 1,000円/枚 (税込)					
は種苗						
植付苗 育苗期害虫防除 農薬散布苗						

☆予定価格ですの変更する場合があります。

申込者氏名

連絡先電話番号

申込期日 令和5年7月3日(月)厳守

※誠に勝手ながらお申込み枚数は、基本10枚以上からお願いたします。



(申込者控え)

### 令和5年播きタマネギ苗申込書

引渡予定日	9月13日頃	9月22日頃	11月2日頃	11月9日頃
苗の種類	予定価格 1,000円/枚 (税込)	予定価格 1,000円/枚 (税込)	予定価格 1,500円/枚 (税込)	予定価格 1,500円/枚 (税込)
は種苗 (は種3日後)				
植付苗				

☆予定価格ですので変更する場合があります。

キリトリ線

(JA提出用)

P47

### 令和5年播きタマネギ苗申込書

引渡予定日	9月13日頃	9月22日頃	11月2日頃	11月9日頃
苗の種類	予定価格 1,000円/枚 (税込)	予定価格 1,000円/枚 (税込)	予定価格 1,500円/枚 (税込)	予定価格 1,500円/枚 (税込)
は種苗 (は種3日後)				
植付苗				

☆予定価格ですので変更する場合があります。

申込者氏名

連絡先電話番号

申込期日 令和5年8月4日(金)厳守

※誠に勝手ながらお申込み枚数は、基本10枚以上からお願いたします。

## 農業機械の貸出運営管理要領

### (目的)

第1条 この要領は、東びわこ農業協同組合（以下、組合）が取得した農業機械（以下、機械）を効率よく円滑かつ適正に利用し、過剰投資を抑制するとともに、近代的な農業経営と農業機械体系による生産性の向上等を図ることを目的として、機械の貸付を定めるものである。

### (機械の種類)

第2条 組合が管理し貸出を行う機械は、別表のとおりとする。

### (保管・管理場所)

第3条 組合管内の倉庫において保管管理する。

### (管理)

第4条 機械の管理は、各地域の営農担当部署が行うものとする。

### (利用者)

第5条 利用者は、組合管内で農業に取り組む組合員および生産者組織とする。

### (利用申込)

第6条 利用希望者は、利用面積・希望時期等を含む利用申込書を組合に提出する。

### (利用者の責務)

第7条 利用者は、機械を利用する10日前までに組合に連絡し、協議のうえ日程調整を行う。

2. 利用者は、機械を組合が指定する保管場所で自ら引き取るものとする。
3. 利用者は、使用後に機械を清掃し故障・破損がないか確認したうえで、燃料を満量にして保管場所まで遅滞なく返却するものとする。
4. 利用者は、返却時までに備え付けの作業日誌に記入するものとする。

### (損害賠償)

第8条 利用者は、この機械を使用するにあたり、最善の注意をもって取り扱うものとし、故意または過失によって機械の全部または一部を損傷・喪失させた場合には、その損害相当分を賠償しなければならない。

(利用料金)

第9条 利用料金は別途定めるものとし、あらかじめ利用者に提示するものとする。

(利用料金の徴収)

第10条 利用料金の徴収は、利用者が指定する組合の貯金口座から振替徴収する。

(改廃)

第11条 この要領の改廃は、理事長が行う。

(その他)

第12条 この要領に定めのない事項については、その都度、理事長が定める。

附則

この要領は、平成25年9月11日から施行する。

この要領の変更は、平成28年5月9日より施行する。

# 別表

## J A 東びわこ 貸出機械価格一覧表

令和5年4月1日現在

名称、型式	利用料金（税込）	備考
播種機 クリーンシーダ 【AP-1】	1 a あたり 1 1 0 円	
野菜移植機 クボタ乗用半自動移植機 【KP-201CRL】	1 a あたり 3 8 5 円	
たまねぎ移植機 歩行4条全自動移植機 【OPK-4】	1 a あたり 5 6 0 円	
苗管理 葉切り機(タマネギ) みのるトリマー 【TC-110D】	1回あたり 1, 1 0 0 円	
たまねぎ収穫機 歩行型収穫機 【OH-4】	1 a あたり 3 4 0 円	
たまねぎピッカー 【KOP-1000】	1 a あたり 4 5 0 円	
畝立成形ロータリー	1 a あたり 2 7 5 円	

# タマネギ乾燥・調製等利用料一覧

名 称		利用単価(税込)	備 考
①	加工業務用野菜販売手数料	5.5%	
②	乾燥・保管料	5.5円/kg	燃料(灯油)代と 冷蔵保管(電気)代含む (荷受生重量に対して)
③	選果機ツピング利用料	11.0円/kg	選果人件費含む (乾燥後重量に対して)
	選果機ツピング利用料 (※1無選別)	16.5円/kg	
	サイズ選果機のみ利用料 (根葉切り済み)	2.2円/kg	
④	コンテナ利用料	2.2円/kg	鉄コン・プラコン使用料 (荷受生重量に対して)
⑤	資材費 (ネット詰め袋・市場出荷箱等)	必要経費を 按分計算	直売所・市場向け出荷箱

※1 無選別とは・・・搬入時に7cm未満(S・SS規格)の玉ねぎを混杯で持ち込みされたもの。

※2 出荷される方は業務・加工用契約タマネギ取引覚書と農産物生産履歴書を提出していただく必要があります。



提出先

J A東びわこ

各 営 農 経 済 セ ン タ ー 行

営 農 振 興 課 行

TEL 0749-28-7851

FAX 0749-28-7855

J A職員  
受付印

## J A東びわこ有償【たまねぎ】貸出機械利用申込書

私は、各種機械の貸出運営管理要領に記載された内容を順守することを誓約の上、次のとおり貸出機械の利用申込をいたします。

氏 名： \_\_\_\_\_ 印

連絡先： \_\_\_\_\_

※連絡先は、日中連絡のつく番号をご記入願います。

※利用希望日は、連続の場合は3日程度で願います。

歩行型収穫機 (クボタ・ヤンマー) ※どちらかに○して下さい	利用希望日	令和 年 月 日頃 ~ 令和 年 月 日頃
	利用予定面積	a

たまねぎピッカー プラコン仕様 鉄コン仕様 ※どちらかに○して下さい。	利用希望日	令和 年 月 日頃 ~ 令和 年 月 日頃
	利用予定面積	a

たまねぎ 全自動移植機	利用希望日	令和 年 月 日頃 ~ 令和 年 月 日頃
	利用予定面積	a

苗管理 葉切り機 みのるトリマー	利用希望日	令和 年 月 日頃 ~ 令和 年 月 日頃
	利用予定回数	回

※お申込順に貸出計画を組んでいきますので、利用希望日にお応えできない場合がございます。

※天候等の影響によりご使用がいただけない場合は、勝手ながら再度日程調整をいたします。

※貸出受付は、各営農経済センターでも承ります。

### 提出期限：利用10日前まで

# 口座振替依頼書

令和 年 月 日

東びわこ農業協同組合  
 営農経済部 営農振興課 行き

住 所 : \_\_\_\_\_

氏 名 : \_\_\_\_\_ 印

下記振替種目にかかる金額を、口座振替の方法により下記名義の指定貯金口座から支払うことにいたしたいので、下記の事項を確約のうえ依頼します。

## 1. 指定貯金口座及び口座名義人名

口座名義人名											
取引コード			—								
貯金の種類	支店 / 店番			口座番号						届出印	
1.総合 2.普通	支店										Ⓜ

## 2. 振替項目

J A野菜、花卉苗代・J A貸出園芸用農機具利用料 等

### 記

1. 口座振替の手続きについては、貴組合所定の方法で処理してください。
2. 万一振替指定日の指定貯金の残高が引落とし金額に満たないときは、支払いをされなくても異議ありません。  
 なお、この場合貴組合より請求があり次第、直ちに入金します。
3. 後日この取扱いについて万一紛議が生じても、貴組合に迷惑をかけません。
4. この口座振替契約は貴組合が必要と認めた場合、私に通知されることなく解約されても異議ありません。

以上

検 印	印鑑照合	係

※ご記入いただいた個人情報は、費用の徴収における取りまとめ・精算などに関する処理にのみ使用いたします。



確認印 (プチコール)

--	--	--	--	--	--	--	--

令和 年 月 日

受付印 (プチコール)

# 《JA東びわこ 市場出荷等 農産物生産履歴書》

※出荷先チェックして下さい

※その他は記入して下さい

オーミ青果       長浜合同青果       (                      )

--

氏名		ほ場場所		面積	a
----	--	------	--	----	---

品目		出荷日	月 日 ~ 月 日頃まで
----	--	-----	--------------

播種日:	月 日 ~	定植日:	月 日 ~	収穫開始日:	月 日 ~
------	-------	------	-------	--------	-------

肥料名	成分表 (%)			施用日 (10aあたり)				
	N	P	K	/	/	/	/	/
				kg	kg	kg	kg	kg
				kg	kg	kg	kg	kg
				kg	kg	kg	kg	kg
				kg	kg	kg	kg	kg
				kg	kg	kg	kg	kg
				kg	kg	kg	kg	kg
				kg	kg	kg	kg	kg
				kg	kg	kg	kg	kg

毒 or 劇	農薬名	希釈倍率 (倍)	散布量 (kg・リットル)	散布日		
		倍	(kg・ℓ)	/	/	/
		倍	(kg・ℓ)	/	/	/
		倍	(kg・ℓ)	/	/	/
		倍	(kg・ℓ)	/	/	/
		倍	(kg・ℓ)	/	/	/
		倍	(kg・ℓ)	/	/	/
		倍	(kg・ℓ)	/	/	/
		倍	(kg・ℓ)	/	/	/
		倍	(kg・ℓ)	/	/	/
		倍	(kg・ℓ)	/	/	/

（以下甲という）は、東びわこ農業協同組合（以下乙という）へ出荷申出を提出した業務・加工用契約キャベツの取引について、下記条件を順守します。

1. 商品名 : キャベツ
2. 期間 : 令和5年11月1日から令和6年4月30日まで
3. 栽培面積および出荷数量
  - (1) 甲より申出のあった、出荷計画数量を基本とする。

1. 出荷計画数量

出荷時期	品種名	栽培面積	出荷計画数量	備考
令和5年 11月		a	kg	
12月		a	kg	
令和6年 1月		a	kg	
2月		a	kg	
3月		a	kg	
4月		a	kg	
合計		a	kg	

- (2) 対象となる契約キャベツ数量の取扱限度は、原則として甲より申出のあった出荷計画数量の増減10%の範囲とする。
  - (3) 出荷数量が計画数量の10%を超える場合、甲は乙に増加になる要因を事前に連絡することとし、その要因を踏まえ取扱いの有無について甲乙協議のうえ決定する。
  - (4) 出荷数量が計画数量の10%を下回る場合は、天候による自然災害など止むを得ない場合を除き、その責は甲に属する。
4. 取引条件
    - (1) 価格 : 委託販売とし、出荷期間においてプール計算をする。
    - (2) 出荷形態 : 乙が甲にコンテナを貸与（有償）し、量目は5%の入り目を含むものとする。
    - (3) 出荷場所 : 甲は乙が指定する場所へ出荷を行う。
  5. 代金決済 : 乙は甲より出荷された契約キャベツについて、青果物出荷報告書の出荷日を基準に当月末締めとし、翌月15日に概算払いを行うものとする。
  6. 事故処理
    - (1) 甲は事故発生時、ただちに事故状況・数量などを乙に報告することを原則とし、明らかに甲の責任と認められる事故で生じた損害は、甲の負担とする。
  7. その他
    - (1) 天候等の自然災害により作柄の急変等止むを得ない事情の場合は、甲乙協議のうえ、都度対応することとする。
    - (2) 甲が出荷した商品の品質・規格に問題が生じたときは、価格協議もしくは返品とする場合がある。この時、返品・処分にかかる費用が発生した場合の費用については甲の負担とする。
    - (3) この覚書に定めがない事項が生じた場合は、都度甲と乙が誠意を持って協議し、対処する。

（以下甲という）は、東びわこ農業協同組合（以下乙という）へ出荷申出を提出した業務・加工用契約キャベツの取引について、下記条件を順守します。

1. 商品名 : キャベツ
2. 期間 : 令和5年11月1日から令和6年4月30日まで
3. 栽培面積および出荷数量
  - (1) 甲より申出のあった、出荷計画数量を基本とする。

1. 出荷計画数量

出荷時期	品種名	栽培面積	出荷計画数量	備考
令和5年 11月		a	kg	
12月		a	kg	
令和6年 1月		a	kg	
2月		a	kg	
3月		a	kg	
4月		a	kg	
合計		a	kg	

- (2) 対象となる契約キャベツ数量の取扱限度は、原則として甲より申出のあった出荷計画数量の増減10%の範囲とする。
  - (3) 出荷数量が計画数量の10%を超える場合、甲は乙に増加になる要因を事前に連絡することとし、その要因を踏まえ取扱いの有無について甲乙協議のうえ決定する。
  - (4) 出荷数量が計画数量の10%を下回る場合は、天候による自然災害など止むを得ない場合を除き、その責は甲に属する。
4. 取引条件
    - (1) 価格 : 委託販売とし、出荷期間においてプール計算をする。
    - (2) 出荷形態 : 乙が甲にコンテナを貸与（有償）し、量目は5%の入り目を含むものとする。
    - (3) 出荷場所 : 甲は乙が指定する場所へ出荷を行う。
  5. 代金決済 : 乙は甲より出荷された契約キャベツについて、青果物出荷報告書の出荷日を基準に当月末締めとし、翌月15日に概算払いを行うものとする。
  6. 事故処理
    - (1) 甲は事故発生時、ただちに事故状況・数量などを乙に報告することを原則とし、明らかに甲の責任と認められる事故で生じた損害は、甲の負担とする。
  7. その他
    - (1) 天候等の自然災害により作柄の急変等止むを得ない事情の場合は、甲乙協議のうえ、都度対応することとする。
    - (2) 甲が出荷した商品の品質・規格に問題が生じたときは、価格協議もしくは返品とする場合がある。この時、返品・処分にかかる費用が発生した場合の費用については甲の負担とする。
    - (3) この覚書に定めがない事項が生じた場合は、都度甲と乙が誠意を持って協議し、対処する。

令和5年 月 日

(住所) .....

(氏名) .....

（以下甲という）は、東びわこ農業協同組合（以下乙という）へ出荷申出を提出した業務・加工用契約タマネギの取引について、下記条件を順守します。

（以下甲という）は、東びわこ農業協同組合（以下乙という）へ出荷申出を提出した業務・加工用契約タマネギの取引について、下記条件を順守します。

1. 商品名：タマネギ（もみじ3号）
2. 出荷期間：令和6年6月1日から令和6年7月31日まで
3. 栽培面積および出荷数量（生重量）

(1) 甲より申出のあった、出荷計画数量を基本とする。

1. 出荷計画数量

出荷時期	品種名	栽培面積	出荷計画数量	備考
令和6年 6月		a	kg	
7月		a	kg	
月		a	kg	
合計		a	kg	

(2) 対象となる契約タマネギ数量の取扱限度は、原則として甲より申出のあった出荷計画数量の増減10%の範囲とする。

(3) 出荷数量が計画数量の10%を超える場合、甲は乙に増加になる要因を事前に連絡することとし、その要因を踏まえ取扱いの有無について甲乙協議のうえ決定する。

(4) 出荷数量が計画数量の10%を下回る場合、天候による自然災害など止むを得ない場合を除き、その責は甲に属する。

4. 出荷条件

(1) 出荷形態：原則、生（タマネギ）での出荷とする。ただし、自己乾燥や自己調製を行い出荷する場合も、品質等に問題がなければ出荷を認める。

(2) 出荷容器：乙が甲にコンテナを貸与（有償）するものとする。

(3) 出荷場所：甲は乙が指定する場所へ出荷を行う。

5. 代金決済：乙は甲より委託を受けた契約タマネギについて、乾燥調製後の重量に対して、概算払いを行うものとする。最終精算は、すべての商品の乾燥・調製・販売が完了した後、諸費用を控除後プール精算にて支払をする。

6. 事故処理

(1) 甲は事故発生時、ただちに事故状況・数量などを乙に報告しなければならない。

(2) 事故が発生した場合は、甲と乙が協力して速やかに解決することとする。ただし、明らかに甲の責任と認められる事故で生じた損害は、甲の負担とする。

7. その他

(1) 天候等の自然災害により作柄の急変等止むを得ない事情の場合は、甲乙協議のうえ、都度対応することとする。

(2) 甲が出荷した商品の品質・規格に問題が生じたときは、返品とする場合がある。この時、返品・処分にかかる費用が発生した場合の費用については甲の負担とする。

(3) この覚書に定めがない事項が生じた場合は、都度甲と乙が誠意を持って協議し、対処する。

1. 商品名：タマネギ（もみじ3号）
2. 出荷期間：令和6年6月1日から令和6年7月31日まで
3. 栽培面積および出荷数量（生重量）

(1) 甲より申出のあった、出荷計画数量を基本とする。

1. 出荷計画数量

出荷時期	品種名	栽培面積	出荷計画数量	備考
令和6年 6月		a	kg	
7月		a	kg	
月		a	kg	
合計		a	kg	

(2) 対象となる契約タマネギ数量の取扱限度は、原則として甲より申出のあった出荷計画数量の増減10%の範囲とする。

(3) 出荷数量が計画数量の10%を超える場合、甲は乙に増加になる要因を事前に連絡することとし、その要因を踏まえ取扱いの有無について甲乙協議のうえ決定する。

(4) 出荷数量が計画数量の10%を下回る場合、天候による自然災害など止むを得ない場合を除き、その責は甲に属する。

4. 出荷条件

(1) 出荷形態：原則、生（タマネギ）での出荷とする。ただし、自己乾燥や自己調製を行い出荷する場合も、品質等に問題がなければ出荷を認める。

(2) 出荷容器：乙が甲にコンテナを貸与（有償）するものとする。

(3) 出荷場所：甲は乙が指定する場所へ出荷を行う。

5. 代金決済：乙は甲より委託を受けた契約タマネギについて、乾燥調製後の重量に対して、概算払いを行うものとする。最終精算は、すべての商品の乾燥・調製・販売が完了した後、諸費用を控除後プール精算にて支払をする。

6. 事故処理

(1) 甲は事故発生時、ただちに事故状況・数量などを乙に報告しなければならない。

(2) 事故が発生した場合は、甲と乙が協力して速やかに解決することとする。ただし、明らかに甲の責任と認められる事故で生じた損害は、甲の負担とする。

7. その他

(1) 天候等の自然災害により作柄の急変等止むを得ない事情の場合は、甲乙協議のうえ、都度対応することとする。

(2) 甲が出荷した商品の品質・規格に問題が生じたときは、返品とする場合がある。この時、返品・処分にかかる費用が発生した場合の費用については甲の負担とする。

(3) この覚書に定めがない事項が生じた場合は、都度甲と乙が誠意を持って協議し、対処する。

令和 年 月 日

(甲) (住所) .....

(氏名) ..... (印)



JA東びわこ